

1 防災関係機関

1-1 那覇市防災会議委員・幹事名簿一覧

〔会長：那覇市長

幹事長：那覇市総務部長〕

(令和2年3月現在)

区分	機 関 名	委 員	幹 事	連絡先 (幹事)	
				電話 (内線)	FAX (内線)
1	内閣府沖縄総合事務局	総務部長	防災危機管理課長	866-0115	860-1000
	総務省沖縄総合通信事務所	防災対策推進室長	総務課長	865-2300	865-2311
	大阪航空局那覇空港事務所	総務部長	総務課長	857-1101	859-5137
	沖縄气象台	次長	業務課長	833-4283	836-8081
	那覇海上保安部	次長	警備救難課専門官	951-0120	851-0139
2	沖縄県	秘書防災総括監	防災危機管理課長	866-2143	866-3204
	沖縄県南部土木事務所	所長	班長	867-2941	866-6906
3	沖縄県警察那覇警察署	署長	警備課長	836-0110 (465)	833-1454
	沖縄県警察豊見城警察署	署長	警備課長	850-0110 (461)	856-8161
4	副市長 (総務部担当)	副市長	—	867-0111 (230)	869-8191
	副市長 (その他)	副市長	—	" (230)	869-8191
	市長事務局	政策統括調整監	総務部副部長	862-9911	862-0602
	上下水道局	上下水道事業管理者	総務課担当副参事	941-7801	941-7821
	教育委員会	—	総務課長	917-3500	917-3520
	消防局	—	総務課長	897-0119	869-1190
	保健所	—	警防課長	867-0911	869-1190
5	教育委員会	教育長	—	917-3500	917-3520
	消防局	局長	—	867-0119	869-1190
6	消防団	団長	—	867-0911	869-1190
	日本赤十字社沖縄県支部	事務局長	事業推進課長	835-1177	835-1178
7	日本放送協会沖縄放送局	放送部長	放送部副部長	865-3641	865-3615
	西日本高速道路株式会社九州支社 沖縄高速道路事務所	所長	統括課長	870-5952	876-8959
	N T T 西日本 (株) 沖縄支店	設備部長	災害対策担当課長	871-2850	871-2896
	沖縄電力株式会社那覇支店	理事那覇支店長	営業サービスグループ リーダー	867-3241 (215)	867-3287
	株式会社 N T T ドコモ九州支社 沖縄支店	支店長	ネットワーク担当課長	833-7615	833-7644
	公益社団法人沖縄県トラック協会	会長	専務理事	863-0280	863-3591
	公益社団法人沖縄県看護協会	那覇南部地区理事	—	888-3155	888-3126
	イオン琉球株式会社	総務部長	防災課長	889-5464	888-2205
	那覇市自治会長連合会	会長	—	911-3509	
	銘苅新都心自治会自主防災会	副会長	—	869-3234	
8	那覇市女性防火クラブ	会長	—	867-0212	869-1190
	NPO法人日本防災士会沖縄県支部	支部長	副支部長		
	国立大学法人琉球大学	工学部 准教授	—		
8	陸上自衛隊第15旅団	第51普通科連隊 第2中隊長	第51普通科連隊 運用訓練幹部	857-1155 (615)	857-1155 (436)
	那覇港管理組合	総務部長	総務課長	868-2578	868-2629
	沖縄ガス株式会社	常務取締役	総務課長	863-7444	863-7748
	地方独立行政法人那覇市立病院	理事長	総務課長	884-5111 (214)	885-9596
	一般社団法人那覇市医師会	理事	理事	868-7579	867-3750
	一般社団法人那覇市観光協会	事務局長	参事兼総務課長	862-1442	880-6893
	那覇商工会議所	女性会会長	—	868-3758	866-5728
	那覇市青年育成連合会	会長	—	917-3502	917-3521
合計	42機関	40人 (会長含む)	31人 (幹事長含む)		

※区分 那覇市防災会議条例第3条第5項

1号 指定地方行政機関 2号 沖縄県 3号 沖縄県警察 4号 市職員 5号 教育長

6号 消防局長・消防団長 7号 指定公共機関・指定地方公共機関

8号 自主防災組織等・学識経験者等 9号 防災関係機関等

1-2 九州地区都市防災連絡協議会加盟各市防災担当連絡先一覧

(令和元年度)

都市名	担当部署名	電話番号		FAX番号	
		昼間	夜間・休日	昼間	夜間・休日
福岡市	市民局 防災・危機管理課 防災・危機管理課	092-711-4056	092-725-6589 (災害救急指令センター)	092-733-5861	092-735-1074 (災害救急指令センター)
		〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号 bousai.CAB@city.fukuoka.lg.jp			
北九州市	消防局 危機管理室 危機管理課	093-582-2110	093-582-3828 (警防部指令課)	093-582-2112	093-592-6805 (警防部指令課)
		〒803-8509 北九州市小倉北区城内1番1号 Kiki-kanri@city.kitakyushu.lg.jp			
佐賀市	総務部 消防防災課	0952-40-7013	0952-24-3151 (守衛室)	0952-24-3187	0952-24-3187 (守衛室)
		〒840-8501 佐賀市栄町1-1 shouboubousai@city.saga.lg.jp			
長崎市	総務部 防災危機管理室	095-822-0480 (ダイヤルイン)	095-822-0119 (消防局指令課)	095-820-0108	095-825-2995 (消防局指令課)
		〒850-0032 長崎市興善町3番1号 bousai@city.nagasaki.lg.jp			
熊本市	政策局 危機管理防災総室	096-328-2490	096-328-2111 (守衛室)	096-359-8605	096-359-8605
		〒860-8601 熊本市手取本町1番1号 kikikanribousai@city.kumamoto.lg.jp			
大分市	防災局 防災危機管理課	097-537-5664 (ダイヤルイン)	097-534-6119 (当直室)	097-533-0252	097-536-1461 (当直室)
		〒870-8504 大分市荷揚町2番31号 bousaikikikanri@city.oita.oita.jp			
宮崎市	危機管理部 危機管理課	0985-21-1730	0985-27-1118 (消防局指令課)	0985-25-2145	0985-24-3453 (消防局指令課)
		〒880-8505 宮崎市橘通西一丁目1番1号 03kiki@city.miyazaki.miyazaki.jp			
鹿児島市	危機管理局 安心安全課	099-216-1209 (ダイヤルイン)	099-224-1111 (代表)	099-226-0748	099-226-0748
		〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号 anshin02@city.kagoshima.lg.jp			
那覇市	総務部 防災危機管理課	098-861-1102	098-867-0111 (守衛室)	098-862-0614	098-862-0614
		〒900-8585 那覇市泉崎一丁目1番1号 bousai@city.naha.lg.jp			

1-3 自衛隊災害派遣命令者の所在地等一覧

機 関 名	宛 先	所 在 地	実務担当（昼間）		実務担当（夜間）	
			主 管	電 話	実 務	電 話
陸上自衛隊	第15旅団長	那覇市鏡水679	第15旅団 司令部第3部	857-1155 857-1156 857-1157 内線276～279 FAX切替電話 857-5168 沖縄県総合行 政情報通信ネッ トワーク *6-552-0123	団本部当直	857-1155 857-1156 857-1157 内線308 FAX切替電話 857-5168 沖縄県総合行 政情報通信ネッ トワーク *6-552-0123
海上自衛隊	第5航空群 司令	那覇市当間252	作 戦 幕 僚	857-1191 内線5213	群 司 令 部 当 直	857-1191 内線5222
	沖縄基地隊 司 令	うるま市勝連 平敷屋1920	沖 縄 基 地 隊 本 部 警 備 科	978-2342 978-3453 978-3454 内線230	当 直 幕 僚	978-2342 978-3453 978-3454 内線244
航空自衛隊	南西航空 混成団司令	那覇市当間301	司 令 部 運 用 課	857-1191 内線2236	S O C 当 直 幕 僚	857-1191 内線2204 2304

注：急患空輸等の要請先（電話 上記に同じ。）

区分	要請権者	要請の受理及び処理	
		主担当	副担当
離島の急患及び物資空輸	県知事	陸上自衛隊15旅団	航空自衛隊南混団
船舶急患空輸及び海難救助	第十一管区海上保安本部長	航空自衛隊南混団	海上自衛隊5空群 海上自衛隊沖基
海上搜索		海上自衛隊5空群 海上自衛隊沖基	航空自衛隊南混団

1-4 沖縄地方非常通信協議会構成員名簿一覧

(令和2年度)

No	機関名	No	機関名
1	内閣府沖縄総合事務局開発建設部	41	南大東村
2	沖縄气象台	42	北大東村
3	第十一管区海上保安本部	43	伊平屋村
4	九州管区警察局沖縄県情報通信部	44	伊是名村
5	陸上自衛隊第15旅団	45	久米島町
6	那覇地方検察庁	46	八重瀬町
7	沖縄県知事公室	47	多良間村
8	沖縄県警察本部生活安全部	48	竹富町
9	那覇市	49	与那国町
10	宜野湾市	50	西日本電信電話株式会社沖縄支店
11	石垣市	51	KDDI株式会社那覇テクニカルセンター
12	浦添市	52	株式会社NTTドコモ九州支社ネットワーク部
13	名護市	53	沖縄セルラー電話株式会社
14	糸満市	54	ソフトバンク株式会社
15	沖縄市	55	日本放送協会沖縄放送局
16	豊見城市	56	琉球放送株式会社
17	うるま市	57	沖縄テレビ放送株式会社
18	宮古島市	58	琉球朝日放送株式会社
19	南城市	59	株式会社ラジオ沖縄
20	国頭村	60	株式会社エフエム沖縄
21	大宜味村	61	宮古テレビ株式会社
22	東村	62	FM琉球株式会社
23	今帰仁村	63	株式会社FMとよみ
24	本部町	64	株式会社いとまんコミュニティエフエム放送
25	恩納村	65	FM21株式会社
26	宜野座村	66	株式会社FMコザ
27	金武町	67	沖縄ラジオ株式会社
28	伊江村	68	株式会社FMうるま
29	読谷村	69	株式会社エフエムやんばる
30	嘉手納町	70	株式会社エフエムみやこ
31	北谷町	71	有限会社石垣コミュニティエフエム
32	北中城村	72	株式会社FMしまじり
33	中城村	73	株式会社クレスト(FMニライ)
34	西原町	74	株式会社FMよみたん
35	与那原町	75	FM久米島株式会社
36	南風原町	76	デルタ電気工業株式会社(ぎのわんシティFM)
37	渡嘉敷村	77	日本赤十字社沖縄県支部
38	座間味村	78	日本銀行那覇支店
39	粟国村	79	株式会社琉球新報社
40	渡名喜村	80	株式会社沖縄タイムス社

No	機関名
81	沖縄電力株式会社
82	沖縄ガス株式会社
83	電源開発株式会社西日本支店 九州情報通信所
84	南西石油株式会社
85	一般社団法人沖縄県高圧ガス保安協会
86	日本トランスオーシャン航空株式会社
87	全日本空輸株式会社沖縄空港支店
88	琉球海運株式会社
89	一般社団法人沖縄県漁業無線協会
90	那覇港管理組合
91	公益社団法人西部海難防止協会
92	沖縄乗用自動車事業協同組合
93	那覇個人タクシー事業協同組合
94	沖縄南部タクシー協同組合
95	一般財団法人移動無線センター関東センター沖縄事務所
96	一般社団法人沖縄総合無線センター
97	一般社団法人全国陸上無線協会沖縄支部
98	公益社団法人沖縄県トラック協会
99	一般社団法人沖縄県建設業協会
100	一般社団法人日本アマチュア無線連盟沖縄県支部
101	株式会社興洋電子
102	株式会社沖電子
103	株式会社リウデン
104	総務省沖縄総合通信事務所

1-5 那覇市記者クラブ加盟社一覧

(平成31年4月1日現在)

	報道機関	電話番号	F A X	所在地	所属
1	沖縄タイムス社	860-3552	860-3483	久茂地2-2-2	社会部
2	琉球新報社	865-5158	865-5222	泉崎1-10-3	社会部
3	RBC（琉球放送）	860-2063	862-5047	久茂地2-3-1	報道制作部
4	O T V（沖縄テレビ）	869-4422	860-2646	久茂地1-2-20	報道部
5	R O K（ラジオ沖縄）	869-2214	869-2249	西1-4-8	報道部
6	N H K（日本放送協会）	865-3641	865-3615	おもろまち2-6-21	放送部
7	沖縄建設新聞	868-1056	868-1275	泊3-5-6	編集部
8	O C N（沖縄ケーブルネットワーク）	863-0077	863-0609	久茂地1-2-20	放送部
9	Q A B（琉球朝日放送）	860-1984	861-1000	久茂地2-3-1	報道制作部
10	時事通信社	867-1211	861-5112	泉崎1-14-8	那覇支局
11	共同通信社	862-2070	863-5231	久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル 7F	那覇支局
12	日本経済新聞社	862-0148	862-5995	久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル 4F	支局長
13	朝日新聞社	867-1972	863-8545	久茂地2-2-2 10F	総局長
14	毎日新聞社	867-2395	866-1213	泉崎1-10-3 6F	支局長
15	読売新聞社	867-2393	860-2724	久茂地1-3-1 5F	支局長
16	産経新聞社	861-6778	860-3070	久茂地1-2-20 705	支局長
17	日本テレビ	867-1503	862-0496	久茂地1-3-1 5F	支局長
18	エフエム那覇	860-0261	860-0262	牧志2-18-4 1-C	
19	F Mレキオ	865-3131	865-5600	おもろまち3-3-1	代表取締役
20	八重山日報	975-5304	975-5303	壺川1-3-4 4F	那覇支部
21	宮古毎日新聞社	861-9091	861-9092	泉崎1-5-1 オリエンツ151 3F	支社長代理

1-6 災害時医療救急班連絡系統図（那覇市医師会）

（令和2年4月現在）

那覇市医師会災害対策本部					
TEL(098)868-7579 FAX(098)867-3750					
（災害本部構成表）					
役職	職名	氏名	所属施設名	施設TELNo.	緊急連絡
本部長	会長	山城 千秋	山城整形外科眼科医院	836-1100	
副本部長	副会長	友利 博朗	八重洲クリニック	861-8618	
副本部長	副会長	玉井 修	曙クリニック	863-5858	
本部部員	常任理事	田名 毅	首里城下町クリニック第一	885-5000	
"	救急医療担当理事	宮城 淳	沖縄赤十字病院	853-3134	
"	理事	白井 和美	白井クリニック	833-6500	
"	理事	喜納 美津男	きなクリニック	885-4976	
"	理事	宮城 政剛	新川クリニック	863-1511	
"	理事	糸数 功	糸数病院	863-4103	
"	理事	真志取 浩貴	ましどり整形外科	854-6215	
"	理事	外間 英之	外間眼科医院	867-8100	
"	理事	長嶺 勝	ライフケアクリニック那覇	832-1721	
"	理事	玉城 研太郎	那覇西クリニック	858-5557	
"	理事	嘉数 朗	おもろまちメディカルセンター	867-2116	
"	事務局長	上原 善政	那覇市医師会事務局	868-7579	
本部補助員	事務局課長	前泊 政次	那覇市医師会事務局	868-7579	
"	事務局係長	大城 綾子	那覇市医師会事務局	868-7579	
"	事務局職員	上地 政昭	那覇市医師会事務局	868-7579	
"	事務局職員	宮城 幸太	那覇市医師会事務局	868-7579	
"	事務局職員	西村 和高	那覇市医師会事務局	868-7579	

役職	班名	氏名	所属施設名	施設TELNo.	緊急連絡
班長	安里班	安座間 誠	安座間産婦人科	884-3600	
"	小禄班	山城 剛	かいせいクリニック	858-5577	
"	開南班	古謝 将常	古謝内科医院	855-2130	
"	久茂地班	新城 憲	形成外科KC	866-5151	
"	首里・松川班	屋宜 亮兵	ゆずりは訪問診療所	885-7001	
"	崇元寺班	仲地 紀智	仲地レディースクリニック	861-2100	
"	壺屋班	仲宗根 しのぶ	なかそね麻酔科クリニック	836-1120	
"	牧志班	豊田 和正	けいわクリニック	951-3759	
"	松尾班	萩原 啓介	中央皮フ科	867-3023	
"	美栄橋班	川平 昌秀	川平病院	836-1101	
"	与儀班	友利 俊一	友利産婦人科	855-1103	
"	寄宮班	前原 信人	のぶ内科クリニック	832-2266	
"	若狭班	真栄田 篤彦	西町クリニック	867-0010	

2 自然条件・災害履歴関係

2-1 気象状況

(1) 気象状況（最近16年間）

区分	年平均気温 (°C)	年平均湿度 (%)	年間降水量 (mm)	年平均風速 (m/s)	年最大風速 (m/s)
平成16年	23.4	69	1,926.0	5.4	27.1 西
“ 17年	23.1	70	1,947.5	5.5	17.4 北北西
“ 18年	23.5	75	2,068.0	5.2	21.7 南東
“ 19年	23.5	72	2,816.5	5.4	33.1 東南東
“ 20年	23.4	71	1,621.0	4.9	15.9 北
“ 21年	23.4	72	1,864.5	5.3	19.4 東
“ 22年	23.1	74	2,895.5	5.3	21.2 北
“ 23年	22.9	75	2,122.0	5.4	35.0 南西
“ 24年	23.0	74	2,733.0	5.5	41.1 西北西
“ 25年	23.3	73	2,071.0	5.3	22.0 東
“ 26年	23.5	73	2,584.5	5.5	33.1 南東
“ 27年	23.6	73	1,425.0	5.2	27.0 東
“ 28年	24.1	74	2,368.0	5.1	20.7 南東
“ 29年	23.6	71	1,907.0	5.0	22.4 西北西
“ 30年	23.5	74	2,469.5	5.3	34.0 西南西
令和元年	23.9	77	2,637.5	5.2	29.7 南東

(資料：沖縄気象台)

(2) 気温と降水量（平年値）

【統計期間】1981年（昭和56年）～2019年（令和元年）

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
月間降水量の 平年値 (mm)	107.3	119.3	152.1	166.4	238.9	259.8	160.7	255.8	253.1	160.3	119.1	100.8	2090.8
月平均気温の 平年値 (°C)	17.0	17.3	19.0	21.4	24.1	27.0	29.0	28.8	27.8	25.3	22.2	18.8	23.1

(資料：沖縄気象台)

(3) 日降水量・日最大1時間降水量の月別の極値

【統計期間】日降水量：1890年（明治23年）7月～2019年（令和元年）12月（1945年を除く）

日最大1時間降水量：1900年（明治33年）1月～2019年（令和元年）12月（1945年～1950年を除く）

月 降水量		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		最大日	降水量	149.2	205.7	197.9	351.8	206.1	214.5	232.4	427.5	411.5	468.9
	年	1903	1958	1900	1891	1916	2004	1923	2007	1999	1959	1906	1985
	日	13	6	31	11	20	9	17	11	22	16	12	6
最大1時間	降水量	45.7	69.6	86.3	74.6	79.4	76.1	110.5	95.0	94.0	102.5	89.0	74.8
	年	1903	1958	1960	1942	1941	1924	1998	1985	1986	1992	2000	1960
	日	31	6	20	19	22	16	17	13	24	11	9	23

(資料：沖縄気象台)

(4) 日降水量の極値順位表

【統計期間】1890年（明治23年）7月～2019年（令和元年）12月（1945年を除く）

順位 降水量	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
降水量	468.9	427.5	427.0	411.5	351.8	342.7	287.3	271.7	265.0	262.5
年	1959	2007	1906	1999	1891	1959	1936	1952	1969	1971
月 日	10月16日	8月11日	11月12日	9月22日	4月11日	11月12日	10月13日	8月15日	8月20日	11月14日

(資料：沖縄気象台)

(5) 台風の発生数及び沖縄に接近した台風数（平年値）

【統計期間】1981年（昭和56年）～2019年（令和元年）

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
台風発生数	0.4	0.2	0.3	0.6	0.9	1.8	3.8	5.7	4.9	3.6	2.3	1.1	25.8
那覇から300km以内を通過	—	—	—	0.0	0.2	0.4	0.6	0.9	1.0	0.6	0.1	0.0	3.9
沖縄県の気象官署 いずれかから300km以内を通過	—	—	—	0.0	0.4	0.7	1.5	2.2	1.7	1.1	0.3	0.1	7.6

(資料：沖縄気象台)

2-2 災害履歴

(1) 風水害

年 月 日	原 因	被 害 状 況	気 象 値
昭和36年(1961) 7月19日～24日	大 雨 (熱低)	家屋被害 床上浸水323戸 床下浸水1,217戸	日最大1時間降水量 60.1mm 総降水量 436.8mm
昭和36年(1961) 10月1日～3日	台風23号 (ティルダ ー)	(1) 人的被害 死者4人 (2) 家屋被害 全壊家屋67戸 半壊家屋186戸 全壊公共家屋6戸 半壊公共家屋8戸 全壊非家屋1戸 半壊非家屋5戸 床上浸水749戸 床下浸水638戸 (3) 船舶被害5トン以上 沈没1隻 破損1隻 5トン以下 流失1隻 破損3隻 (4) 道路被害 破損1ヶ所	最大風速 N 40.0m/s 総降水量 230.4mm
昭和40年(1965) 8月3日～5日	台風15号 (ジーン)	(1) 家屋被害 半壊家屋4戸 半壊非家屋1戸 床上浸水1,758戸 床下浸水1,229戸 (2) 船舶被害 5トン以上 沈没1隻 5トン以下 流失1隻 (3) 道路被害 破損4ヶ所 (4) その他 橋りょう破損1ヶ所 山崩れ1ヶ所	最大風速 S 26.7 $\frac{m}{s}$ 総降水量 357.2mm
昭和44年(1969) 8月19日～21日	台風9号 (コ ラ)	(1) 人的被害 重傷1人 軽傷1人 (2) 被 害 全壊家屋8戸 半壊家屋7戸 床上浸水54戸 床下浸水228戸 全壊非家屋15戸 半壊非家屋26戸 (3) 道路被害 破損1ヶ所 (4) その他 橋りょう破損1ヶ所	最大風速ESE 34.8 $\frac{m}{s}$ 総降水量 373.0mm
昭和46年(1971) 11月13日～15日	台風35号 (アーマ)	(1) 家屋被害 半壊家屋1戸 床上浸水8戸 床下浸水30戸	最大風速 N 26.5 $\frac{m}{s}$ 総降水量 290.0mm
昭和47年(1972) 5月13日～15日	大 雨	(1) 家屋被害 床上浸水1戸 床下浸水5戸	日最大1時間降水量 42.5mm 総降水量 235.5mm
昭和47年(1972) 6月6日～7日	大 雨	(1) 家屋被害 床上浸水9戸 床下浸水26戸	日最大1時間降水量 75.0mm 総降水量 246.5mm

年 月 日	原 因	被 害 状 況	気 象 値
昭和47年 (1972) 7月20日～25日	台風7号	(1) 人的被害 軽傷3人 (2) 家屋被害 床下浸水6戸	最大風速SW 30.2% 総降水量 394.5mm
昭和48年 (1973) 7月15日～17日	台風3号	(1) 被 害 床上浸水670戸 床下浸水406戸 一部破損4戸 公共施設一部破損7戸 (2) その他 道路決壊3ヶ所 堤防決壊2ヶ所 がけ崩れ2ヶ所	最大風速SW 19.2% 総降水量 147.0mm
昭和49年 (1974) 7月3日～5日	台風8号	(1) 家屋被害 床下浸水15戸 一部破損1戸 非住家被害7戸 (2) その他 道路損壊2ヶ所 がけ崩れ1ヶ所	最大風速E 22.7% 総降水量 273.5mm
昭和49年 (1974) 10月10日～13日	大 雨	(1) 家屋被害 床上浸水94戸 床下浸水219戸	日最大1時間降水量 63.5mm 総降水量 194.5mm
昭和50年 (1975) 4月27日	大 雨 たつまき 落 雷	(1) 家屋被害 床上浸水40戸 床下浸水48戸 (2) その他 道路損壊3ヶ所 河川損壊9ヶ所 がけ崩れ4ヶ所	日最大1時間降水量 44.0mm 総降水量 117.5mm
昭和50年 (1975) 5月18日	大 雨 落 雷	(1) 家屋被害 床上浸水10戸 床下浸水23戸 (2) その他 道路損壊2ヶ戸 河川損壊3ヶ所 がけ崩れ6ヶ所	日最大1時間降水量 64.0mm 総降水量 123.5mm
昭和51年 (1976) 9月8～11日	台風17号	(1) 家屋被害 床上浸水20戸 床下浸水156戸 一部損壊35戸 (2) その他 船舶被害28隻	最大風速NW 24.0% 総降水量 166.0mm
昭和52年 (1977) 9月8日～10日	台風9号	(1) 家屋被害 床下浸水9戸 一部損壊3戸 非住家被害1戸	最大風速NW 23.5% 総降水量 168.0mm
昭和53年 (1978) 8月14日～19日	台風11号	(1) 家屋被害 床下浸水19戸	最大風速WNW 23.1% 総降水量 277.5mm
昭和54年 (1979) 8月21日～24日	台風11号	(1) 建物被害 半壊家屋4戸 床下浸水1戸 非家屋破損1戸	最大風速SE 21.4% 総降水量 172.0mm
昭和54年 (1979) 10月28日～29日	大 雨	(1) 建物被害 床下浸水3戸	総降水量 51.0mm
昭和54年 (1979) 11月1日～2日	大 雨	(1) 建物被害 床上浸水2戸 床下浸水8戸	総降水量 181.5mm
昭和55年 (1980) 3月下旬～5月上旬	長 雨	(1) 建物被害 床上浸水2戸 床下浸水40戸 (2) その他 がけ崩れ1ヶ所	総降水量 616.5mm

年 月 日	原 因	被 害 状 況	気 象 値
昭和55年(1980) 4月9日	大 雨	(1) 建物被害 床下浸水33戸	総降水量 58.0mm
昭和55年(1980) 4月11日	大 雨	(1) 建物被害 床下浸水2戸	総降水量 144.5mm
昭和55年(1980) 9月9日～11日	台風13号	(1) 建物被害 床上浸水1戸 床下浸水1戸	最大風速NW19.0m/s 総降水量 54.0mm
昭和55年(1980) 10月11日～14日	台風19号	(1) 建物被害 床下浸水1戸	最大風速S 21.7m/s 総降水量 155.5mm
昭和56年(1981) 8月29日～31日	台風18号	(1) 人的被害 負傷者1人 (2) 建物被害 半壊家屋5戸 (3) その他 がけ崩れ1ヶ所	最大風速SE23.7m/s 総降水量 128.0mm
昭和56年(1981) 10月19日～22日	台風24号	(1) 人的被害 負傷者3人 (2) 建物被害 非家屋被害2戸	最大風速NNE 23.6m/s 総降水量 132.5mm
昭和57年(1982) 6月2日～3日	大 雨	(1) 建物被害 床上浸水76戸 床下浸水67戸 (2) その他 がけ崩れ5ヶ所 橋りょう破損1ヶ所	総降水量 156.5mm
昭和57年(1982) 9月22日～23日	台風19号	(1) 建物被害 床下浸水4戸 (2) その他 がけ崩れ1ヶ所	最大風速NNE 17.7m/s 総降水量 287.0mm
昭和58年(1983) 7月11日～13日	大 雨	(1) 建物被害 床上浸水4戸 床下浸水15戸 非家屋被害3戸	総降水量 201.5mm
昭和58年(1983) 9月23日～28日	台風10号	(1) 人的被害 負傷者2人 (2) 建物被害 半壊家屋1戸 一部破損3戸 床下浸水11戸 非家屋被害7戸	最大風速SE 24.9m/s 総降水量 311.0mm
昭和60年(1985) 8月12日～14日	台風9号	(1) 建物被害 床上浸水1,317戸 床下浸水 575戸 (2) その他 道路損壊7ヶ所 山・がけ崩れ13ヶ所	最大風速WSW 13.1m/s 総降水量 239.5mm
昭和61年(1986) 9月23日～24日	大 雨	(1) 建物被害 半壊家屋7戸 一部損壊5戸 床上浸水 369戸 床下浸水 405戸 (2) その他 がけ崩れ11ヶ所	総降水量 293.0mm
昭和62年(1987) 5月21日	大 雨	(1) 建物被害 床上浸水4戸 床下浸水7戸	総降水量 51.0mm
昭和62年(1987) 6月6日	大 雨	(1) 建物被害 床上浸水11戸 床下浸水36戸 (2) その他 がけ崩れ2ヶ所	総降水量 68.5mm
昭和62年(1987) 8月29日～30日	台風12号	(1) 人的被害 重傷者1人 軽傷者2人 (2) 建物被害 全壊家屋2戸 半壊家屋4戸 一部損壊18戸 床上浸水2戸 床下浸水2戸	最大風速SE 32.0m/s 総降水量 245.0mm

年 月 日	原 因	被 害 状 況	気 象 値
昭和63年（1988） 5月1日	大 雨	(1) 建物被害 床上浸水1戸 床下浸水4戸 (2) その他 がけ崩れ4ヶ所	総降水量 146.5mm
昭和63年（1988） 10月6日～7日	台風24号	(1) 建物被害 半壊家屋3戸 一部損壊3戸	最大風速N 25.0m/s 総降水量 247.0mm
平成2年（1990） 5月10日	大 雨	(1) 建物被害 床上浸水10戸 床下浸水66戸	総降水量 106.0mm
平成2年（1990） 8月29日	台風15号	(1) 建物被害 床下浸水2戸	最大風速ESE 20.7m/s 総降水量 44.0mm
平成2年（1990） 9月16日	台風19号	(1) 建物被害 床下浸水1戸	最大風速NNW 21.8m/s 総降水量 113.5mm
平成2年（1990） 10月5日	台風21号	(1) 建物被害 一部損壊4戸 床下浸水1戸 (2) その他 市内停電12,028戸	最大風速ESE 27.6m/s 総降水量 148.0mm
平成3年（1991） 2月13日	竜 巻	(1) 建物被害 一部損壊1戸	F 1（藤田スケール）
平成3年（1991） 7月27日	台風9号	(1) 人的被害 死者1人 軽傷者5人 (2) 建物被害 全壊家屋2戸 半壊家屋2戸 一部損壊4戸 床下浸水2戸 (3) その他 がけ崩れ1ヶ所	最大風速SSE 29.8m/s 総降水量 306.5mm
平成3年（1991） 9月12日	台風17号	(1) 人的被害 軽傷者3人 (2) 建物被害 半壊家屋1戸 一部損壊5戸 床下浸水5戸 (3) その他 被害船舶23隻	最大風速WSW 37.9m/s 総降水量 215.0mm
平成3年（1991） 9月25日	台風19号	(1) 人的被害 軽傷者2人 (2) 建物被害 全壊家屋1戸 半壊家屋1戸 一部損壊4戸 床下浸水2戸 (3) その他 市内停電15戸	最大風速SSE 29.1m/s 総降水量 197.0mm
平成4年（1992） 2月15日	大 雨	(1) 建物被害 床上浸水4戸 床下浸水13戸	総降水量 92.0mm
平成4年（1992） 6月28日～29日	台風3号	(1) 人的被害 軽傷者1人	最大風速E 28.0m/s 総降水量 73.5mm
平成4年（1992） 10月11日	大 雨	(1) 建物被害 床上浸水12戸 床下浸水97戸	総降水量 212.0mm
平成5年（1993） 9月2日	台風13号	(1) 人的被害 重傷1人 (2) 建物被害 全壊1戸 一部損壊3戸	最大風速S 29.8m/s 総降水量 160.0mm
平成6年（1994） 5月28日～29日	大 雨	(1) 床下浸水2戸	総降水量 149.5mm

年 月 日	原 因	被 害 状 況	気 象 値
平成8年(1996) 8月12日～13日	台風12号	(1) 人的被害 軽傷者1人 (2) 建物被害 一部損壊4戸	最大風速SW 30.5m/s 総降水量 160.0mm
平成9年(1997) 4月14日	大 雨	(1) 床下浸水1戸	総降水量 133.5mm
平成9年(1997) 8月6日～7日	台風11号	(1) 人的被害 重傷者1人 (2) 建物被害 半壊家屋2戸 一部損壊4戸	最大風速SSE 29.1m/s 総降水量 226.5mm
平成9年(1997) 8月16日～17日	台風13号	(1) 人的被害 重傷者2人 (2) 建物被害 半壊2戸 一部損壊1戸 (3) がけ崩れ3ヶ所	最大風速SE 28.6m/s 総降水量 227.0mm
平成16年(2004) 9月5日～6日	台風18号	(1) 人的被害 5人 (2) 建物被害 一部損壊12戸	最大風速W 27.1m/s 総降水量 173.5mm
平成18年(2006) 6月10日～11日	大雨による 土砂災害	首里鳥堀町5丁目で地滑りによりマンションが全壊被害。12室の住民に避難指示。災害救助法が適用された。	総降水量 100.5mm
平成19年(2007) 8月11日	大雨	(1) 床上浸水44戸 (2) 床下浸水7戸 (3) 店舗浸水101戸 安里川の氾濫で牧志・安里一帯で被害大	総降水量 427.5mm
平成22年(2010) 5月16日	大雨	石垣崩壊、落石、土砂崩れ(法面崩落) 4世帯に避難勧告	総降水量 131.5mm
平成23年(2011) 8月4日～6日	台風9号	(1) 人的被害 12人 (2) 建物被害 全壊1戸 一部損壊8戸	最大風速SE 27.9m/s 総降水量 449.0mm
平成24年(2012) 8月25日～27日	台風15号	(1) 人的被害 3人 (2) 建物被害 半壊3戸 一部損壊7戸	最大風速SW 25.2m/s 総降水量 257.5mm
平成24年(2012) 9月15日～16日	台風16号	(1) 人的被害 1人 (2) 建物被害 床下浸水17戸 床上浸水15戸 一部損壊9戸	最大風速NNW 25.9m/s 総降水量 135.5mm
平成24年(2012) 9月28日～29日	台風17号	(1) 人的被害 16人 (2) 建物被害 全壊10戸 半壊12戸 一部損壊222戸 家財や車の被害も多く、県内では保険金の支払いが過去最大の1万5,968件、101億6,064万円となった。	最大風速WNW 41.1m/s 総降水量 99.0mm
平成25年(2013) 5月23日	大 雨	(1) 床上浸水2戸 (2) 床下浸水7戸	総降水量 204.0mm
平成25年(2013) 10月5日～6日	台風23号	(1) 人的被害 3人	最大風速E 22.0m/s 総降水量 118.0mm

※被害状況は那覇市内(沖縄气象台・沖縄県警察本部・那覇市)

(2) 地震

西暦年月日	和暦年	震央の場所	規模 (マグニチュード)	地震・被害の概要	文献
1665年3月	寛文5	沖縄本島	—	地震甚だ大にして山岳尽く響く。	球陽
1760年5月15日	宝暦10	〃	—	首里王城の内外57箇所石垣倒壊	球陽
1768年7月22日	明和5	沖縄本島南西沖	—	大地震あり。王城の石垣数十箇所、寺、王陵、極楽陵の石垣が所々崩れる。	球陽
1858年9月	安政5	沖縄本島	—	8月から12月にかけてたびたび地震。1日7、8回のことも	球陽
明治15年(1882) 7月25日 (午前1時頃)	明治15	沖縄本島南部	—	那覇・首里で石垣倒壊が500箇所。家屋人畜被害なし	※加藤・森論文
明治42年(1909) 8月29日 (午後7時半)	明治42	沖縄本島東方沖	6.2	死者2名、負傷者13名、那覇・首里で石垣倒壊が444箇所	※加藤論文
明治44年(1911) 6月15日	明治44	奄美大島近海	8.0	那覇で石垣の崩壊496箇所あり、このため死者1名、負傷者6名を生じた。首里旧玉城の城壁も著しく崩壊した。小屋の全壊1棟あり、負傷者5名を生じた。那覇で17回、石垣で6回の地震(おそらく余震)を感じた。なお、この地震により小津波を発生した。	気象集誌
昭和元年(1926) 6月29日 (午後11時半)	昭和元	沖縄本島付近	7.5	那覇で震度4、石垣の倒壊箇所が多い。	琉球気象台
平成22年(2010) 2月27日 (午前5時31分)	平成22	沖縄本島近海	6.9 (速報値)	那覇で震度4、負傷者1名、宅地内漏水31件、水道管破裂1件。津波警報が発令されたが、那覇市で津波の観測は無し。	沖縄気象台

※加藤祐三・森宣雄(1996)1882(明治15)年7月25日沖縄島南部の被害地震の発見

※加藤祐三(1997)1909(明治42)年8月29日沖縄島南部の被害地震新史料

(3) 最近10年間の火災発生件数等

年	区分	火災発生件数	損害見積額（千円）	建物焼損面積（㎡）
平成21年		117	224,843	1,870
〃 22年		71	14,906	525
〃 23年		102	40,881	987
〃 24年		83	35,581	362
〃 25年		98	244,545	875
〃 26年		87	59,636	649
〃 27年		87	27,682	328
〃 28年		91	43,809	626
〃 29年		72	11,426	466
〃 30年		86	50,092	811
平成31・令和元年		86	43,804	4,399

(資料：消防局)

(4) その他主な災害一覧

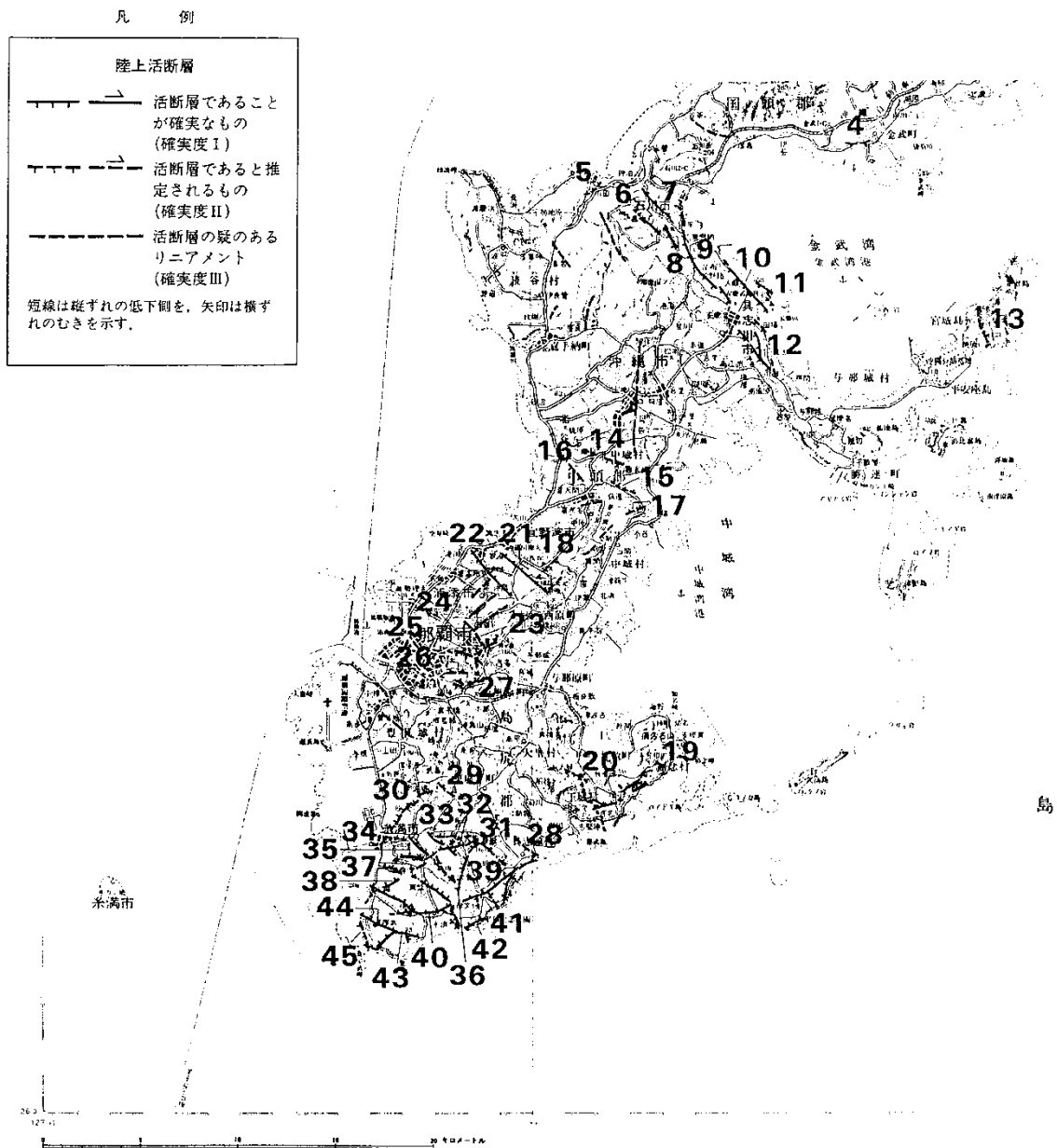
年月日	種別	被害の状況
昭和38年8月17日	みどり丸沈没事故	死亡86人、行方不明26人
昭和47年7月31日	上間569番地 大正アパート 県内初のプロパンガス爆発 事故	死亡1人、負傷5人 鉄筋コンクリート3階の部分全壊
昭和48年2月3日	那覇軍港の米軍用船のガス 洩れ事故	日本人従業員13人、米軍人5人がガス中毒で 病院に運ばれた。東町、辻町、若狭一帯の住民 は目と鼻、のどに痛みを覚え被害を受けた。
昭和48年11月26日	琉海ビル工事現場 陥没事故	住家（全壊8棟、一部損壊2棟）非住家（全壊 1棟）国道58号線、市道、下水道、水道、車 両、重機等が破損または埋没した。
昭和49年3月2日	小禄聖マタイ教会前 下水道工事現場 不発弾爆発事故発生	死亡4人、負傷者34人、住害98棟（全壊14 棟、半壊32棟、一部破損52棟）非住家19 棟、車両破損70台、その他公共施設、物件 等の被害を受けた。
昭和49年2月24日	小禄鏡原町3の37番地 丸重アパート プロパンガス爆発	死亡2人、負傷者4人 住家13棟（半壊1棟、一部破損12棟） 車両破損8台
昭和51年4月1日	牧志町2丁目70番付近 桜坂火災	死者4人、負傷者1人、全焼9棟、部分焼2棟、 焼損面積 1,145㎡
昭和53年1月10日	神里原大火	死者1人、全焼27棟、部分焼9棟、焼損面積 1,777㎡
昭和54年5月23日	牧志町2-361-3番地 若葉荘301号室 都市ガス爆発炎上火災	爆発による死亡1人、一酸化炭素中毒死1 人、その他死亡1人、負傷者1人、3階の部 屋全壊全焼、一部破損5棟

年 月 日	種 別	被 害 の 状 況
昭和 55 年 12 月 18 日	小祿 1489-5 番地 比嘉アパート 402 号室 プロパンガス爆発炎上火災	死亡 2 人 402 号室全焼 16 号室一部破損、一部破損 2 棟
昭和 57 年 11 月 16 日	桜坂パー街で大火	全焼 4 棟、部分焼 2 棟、17 店舗全焼、焼損面積 699 m ²
昭和 60 年 5 月 16 日	国場 401-3 番地 マンガ喫茶ばんぷきん プロパンガス爆発	負傷者 28 人（中等傷 4 人、軽傷 24 人） 全壊 1 棟、半壊 5 棟、車両 2 台 り災人員 574 人
昭和 62 年 1 月 30 日	長田 2-14-8 鉄くず集荷業 75 ミリ砲弾爆発	死亡 1 人 車両破損 1 台
昭和 63 年 9 月 21 日	光明寺火災	被害額 6,400 万円
平成 5 年 7 月 5 日	鏡水 フリーゾーン内貯留 槽内 ガス酸欠事故	死亡 2 人 負傷者 1 人 ※除外施設貯留槽内から発生した硫化水素によるガス酸欠事故
平成 8 年 2 月 18 日	久茂地 雑居ビル火災	6 階建 5 階部分が焼損 部分焼 焼損面積 82.5 m ² ※バックドラフト現象火災
平成 17 年 1 月 1 日	那覇市牧志 3 丁目 平和通り商店街炎上火災	負傷者 0 人 全焼 5 棟 半焼 2 棟 ぼや 2 棟 焼損面積 1,170 m ²
平成 18 年 5 月 31 日	那覇市松山 1 丁目 17 番 雑居ビル火災 ※放火による火災	死者 2 人 負傷者 4 人
平成 19 年 8 月 20 日	中華航空機炎上火災 ※右側主翼部分から出火炎上	負傷者 5 人（乗客 2 人 その他 3 人） 航空機 1 機全焼
平成 19 年 10 月 14 日	那覇市辻 2 丁目 風俗店ビル火災	死者 3 人 負傷者 6 人 ※ 4 階建ビル 3 階部分全焼
平成 21 年 8 月 19 日	那覇市樋川 ガーブ川排水路水難事故	死者 4 人 負傷者 1 人 ※橋の耐震調査中の作業員が局地的な大雨が原因とされる鉄砲水により暗渠内に流された水難事故
平成 22 年 11 月 26 日	建物火災	死者 2 人 ※木造 2 階建ての 2 階から出火し、全焼 1 棟、部分焼 1 棟 焼損面積 172 m ² 出火原因 ガスコンロ
平成 23 年 9 月 29 日	建物火災	死者 1 人 負傷者 1 人 ※耐火構造 2 階から出火し、1 棟全焼、ぼや 2 棟した 焼損面積 240 m ² 出火原因 タバコ
平成 24 年 8 月 13 日	建物火災	死者 1 人 負傷者 2 人 2 階建ての 2 階玄関から出火し半焼した火災
令和元年 10 月 31 日	首里城火災	全焼 5 棟 死者なし

(資料：消防局)

3 地震想定関係

3-1 沖縄本島中南部の活断層分布図



▼那覇市域にある活断層

No.	断層名	確実度	活動度	長さ(km)	断層の形態
23	首里北方	Ⅱ	C	1.9	低断層崖
24	首里東南方	Ⅱ	C	1.3	低断層崖
25	首里西南方	Ⅱ	B	1.8	低断層崖
26	真和志	Ⅱ	C	1.0	低断層崖

※ 活動度=千年間の平均変位

- A : 1m以上10m未満
- B : 0.1m以上1m未満
- C : 0.01m以上0.1m未満

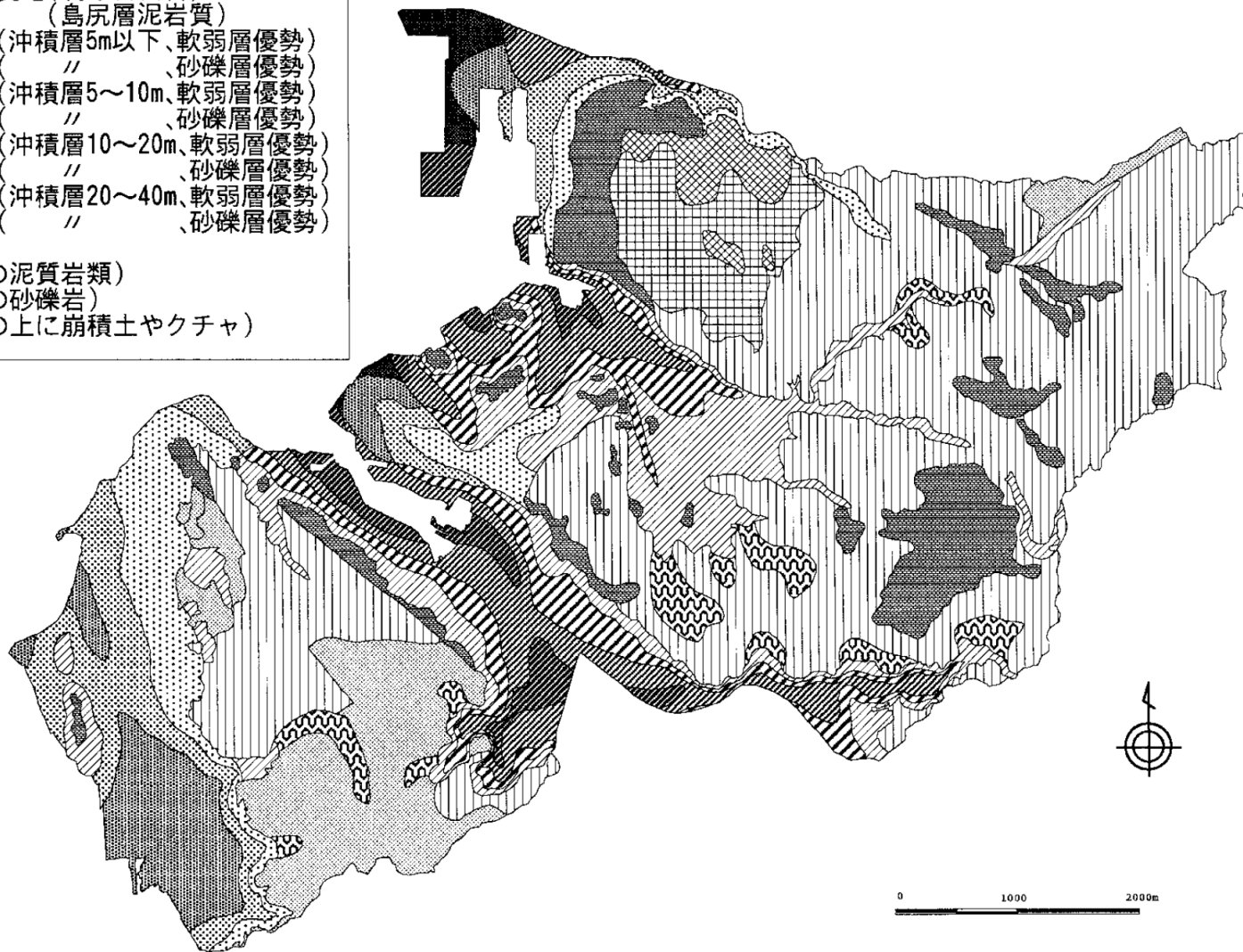
〔活断層研究会(1991)新編日本の活断層より〕

3-2 那覇市地盤分類図

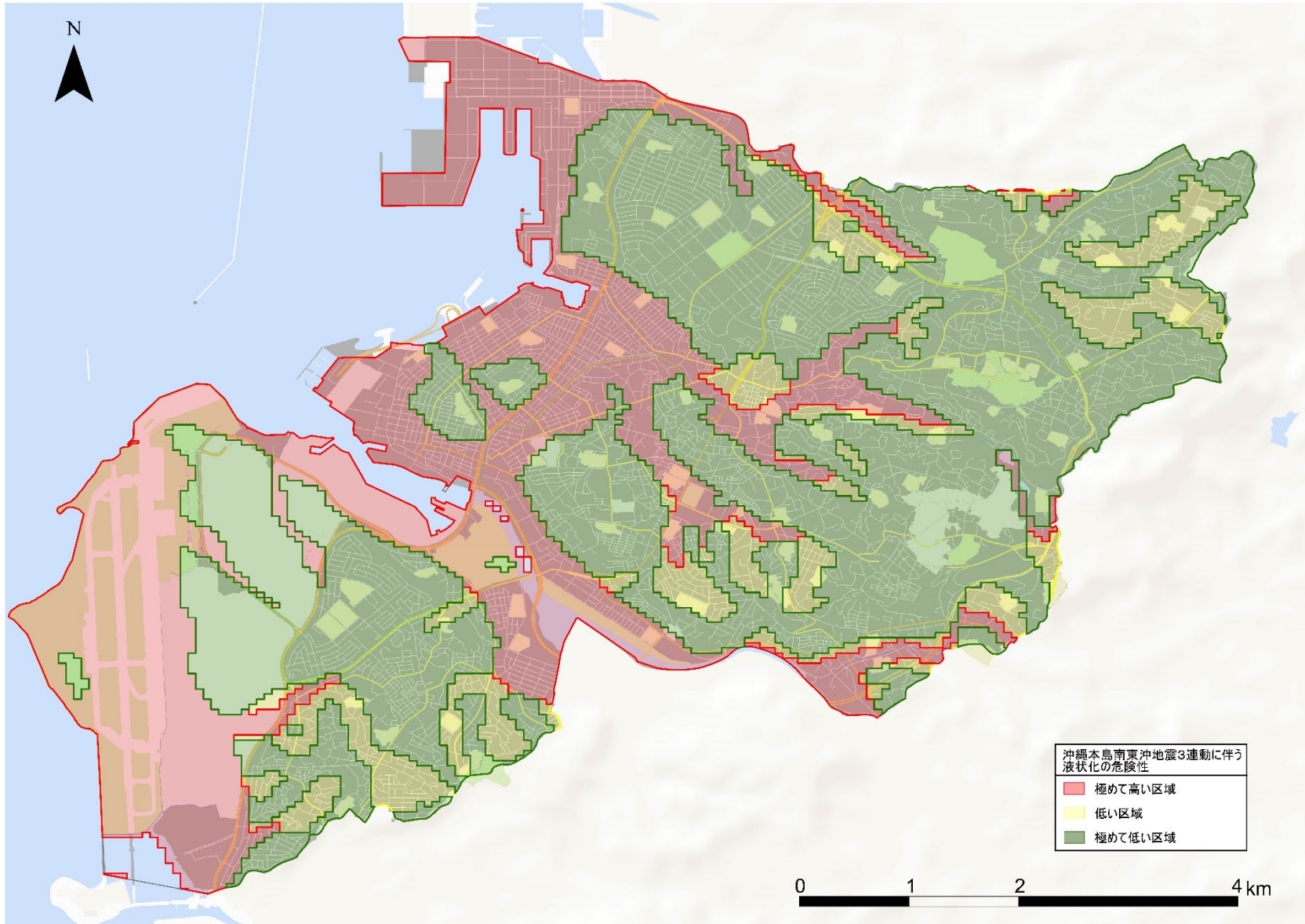
地盤分類の凡例

	R1: 台地・丘陵地の人工改変地(琉球石灰岩)
	Rm: // (島尻層泥岩質)
	A1a: 海岸埋立地・沖積低地(沖積層5m以下、軟弱層優勢)
	A1b: // (砂礫層優勢)
	A2a: // (沖積層5~10m、軟弱層優勢)
	A2b: // (砂礫層優勢)
	A3a: // (沖積層10~20m、軟弱層優勢)
	A3b: // (砂礫層優勢)
	A4a: // (沖積層20~40m、軟弱層優勢)
	A4b: // (砂礫層優勢)
	D1: 台地(琉球石灰岩)
	Tm: 台地・丘陵地(島尻層の泥質岩類)
	Ts: // (島尻層の砂礫岩)
	Td: // (島尻層の上に崩積土やクチャ)

○那覇市地盤分類図



3-4 液状化予測図



3-5 気象庁震度階級関連解説表

(平成21年3月31日)

使用にあたっての留意事項

1. 気象庁が発表している震度は、原則として地表や低層建物の一階に設置した震度計による観測値です。この資料は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すもので、それぞれの震度に記述される現象から震度が決定されるものではありません。
2. 地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は震度計が置かれている地点での観測値であり、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。また、中高層建物の上層階では一般に地表より揺れが強くなるなど、同じ建物の中でも、階や場所によって揺れの強さが異なります。
3. 震度が同じであっても、地震動の振幅（揺れの大きさ）、周期（揺れが繰り返す時の1回あたりの時間の長さ）及び継続時間などの違いや、対象となる建物や構造物の状態、地盤の状況により被害は異なります。
4. この資料では、ある地震が観測された際に発生する被害の中で、比較的多く見られるものを記述しており、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。また、それぞれの震度階級で示されている全ての現象が発生するわけではありません。
5. この資料は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、5年程度で定期的に内容を点検し、新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実情と合わなくなった場合には変更します。
6. この資料では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。

用語	意味
まれに	極めて少ない。めったにない。
わずか	数量・程度が非常に少ない。ほんの少し。
大半	半分以上。ほとんどよりは少ない。
ほとんど	全部ではないが、全部に近い。
が（も）ある、 が（も）いる	当該震度階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くはないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用。
多くなる	量的に表現できかねるが、下位の階級より多くなることを表す。
さらに多くなる	上記の「多くなる」と同じ意味。下位の階級で上記の「多くなる」が使われている場合に使用。



















※ 気象庁では、アンケート調査などにより得られた震度を公表することがありますが、これらは「震度〇相当」と表現して、震度計の観測から得られる震度と区別しています

● 人の体感・行動、屋内の状況、屋外の状況

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	—	—
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	—	—
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	—
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが目覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて揺れに気づく人がいる。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

震度階級関連解説表の「木造建物（住宅）の状況」に絵を加え、被害の状況をイメージしやすくしたものです。

● 木造建物（住宅）の状況

震度階級	木造建物（住宅）	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5 弱	—	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。 軽微なひび割れ・亀裂 
	—	壁などにひび割れ・亀裂がみられことがある。 軽微なひび割れ・亀裂 ひび割れ・亀裂  
6 弱	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。 軽微なひび割れ・亀裂 	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。 瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。 倒れるものもある。 ひび割れ・亀裂 大きなひび割れ・亀裂 傾く 倒れる    
	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。 軽微なひび割れ・亀裂 ひび割れ・亀裂  	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。 傾くものや、倒れるものが多くなる。 大きなひび割れ・亀裂 傾く 倒れる   
7	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。 軽微なひび割れ・亀裂 ひび割れ・亀裂 大きなひび割れ・亀裂   	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 傾く 倒れる  

- (注1) 木造建物（住宅）の耐震性により2つに区分けした。耐震性は、建築年代の新しいものほど高い傾向があり概ね昭和56年（1981年）以前は耐震性が低く、昭和57年（1982年）以降には耐震性が高い傾向がある。しかし構法の違いや壁の配置などにより耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。
- (注2) この表における木造の壁のひび割れ、亀裂、損壊は、土壁（割り竹下地）、モルタル仕上壁（ラス、金網下地を含む）を想定している。下地の弱い壁は、建物の変形が少ない状況でも、モルタル等が剥離し、落下しやすくなる。
- (注3) 木造建物の被害は、地震の際の地震動の周期や継続時間によって異なる。平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震のように、震度に比べ建物被害が少ない事例もある。
- (注4) この表中のイラストは、DATS（Damage Assessment Training System）の被害認定用パターンチャートを基に、一部加筆した。
- (注5) なお、図は特定の構法（在来軸組木造）を前提に、比較的多く見られる被害状態を模式的に描いたもので、これとは異なる被害状態となることもある。

● 鉄筋コンクリート造建物の状況

震度 階級	鉄筋コンクリート造建物	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5 強	—	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。
6 弱	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。
6 強	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めやX状のひび割れ・亀裂がみられることがある。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。
7	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂がさらに多くなる。 1階あるいは中間階が変形し、まれに傾くものがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めやX状のひび割れ・亀裂が多くなる。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものが多くなる。

(注1) 鉄筋コンクリート造建物では、建築年代の新しいものほど耐震性が高い傾向があり、概ね昭和 56 年（1981 年）以前は耐震性が低く、昭和 57 年（1982 年）以降は耐震性が高い傾向がある。しかし、構造形式や平面的、立体的な耐震壁の配置により耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注2) 鉄筋コンクリート造建物は、建物の主体構造に影響を受けていない場合でも、軽微なひび割れがみられることがある。

● 地盤・斜面等の状況

震度 階級	地盤の状況	斜面等の状況
5 弱 5 強	亀裂※1や液状化※2が生じることがある。	落石やがけ崩れが発生することがある。
6 弱	地割れが生じることがある。	がけ崩れや地すべりが発生することがある。
6 強 7	大きな地割れが生じることがある。	がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。※3

※1 亀裂は、地割れと同じ現象であるが、ここでは規模の小さい地割れを亀裂として表記している。

※2 地下水位が高い、ゆるい砂地盤では、液状化が発生することがある。液状化が進行すると、地面からの泥水の噴出や地盤沈下が起こり、堤防や岸壁が壊れる、下水管やマンホールが浮き上がる、建物の土台が傾いたり壊れたりするなどの被害が発生することがある。

※3 大規模な地すべりや山体の崩壊等が発生した場合、地形等によっては天然ダムが形成されることがある。また、大量の崩壊土砂が土石流化することもある。

● ライフライン・インフラ等への影響

ガス供給の停止	安全装置のあるガスメーター（マイコンメーター）では震度5弱程度以上の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。 さらに揺れが強い場合には、安全のため地域ブロック単位でガス供給が止まることがある。※
断水、停電の発生	震度5弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある。※
鉄道の停止、高速道路の規制等	震度4程度以上の揺れがあった場合には、鉄道、高速道路などで、安全確認のため、運転見合わせ、速度規制、通行規制が、各事業者の判断によって行われる。（安全確認のための基準は、事業者や地域によって異なる。）
電話等通信の障害	地震災害の発生時、揺れの強い地域やその周辺の地域において、電話・インターネット等による安否確認、見舞い、問合せが増加し、電話等がつながりにくい状況（ふくそう）が起こることがある。そのための対策として、震度6弱程度以上の揺れがあった地震などの災害の発生時に、通信事業者により災害用伝言ダイヤルや災害用伝言版などの提供が行われる。
エレベーターの停止	地震管制装置付きのエレベーターは、震度5弱程度以上の揺れがあった場合、安全のため自動停止する。運転再開には、安全確認などのため、時間がかかることがある。

※震度6強程度以上の揺れとなる地震があった場合には、広い地域で、ガス、水道、電気の供給が停止することがある。

● 大規模構造物への影響

長周期地震動※による超高層ビルの揺れ	超高層ビルは固有周期が長いため、固有周期が短い一般の鉄筋コンクリート造建物に比べて地震時に作用する力が相対的に小さくなる性質を持っている。しかし、長周期地震動に対しては、ゆっくりとした揺れが長く続き、揺れが大きい場合には、固定の弱いOA機器などが大きく移動し、人も固定しているものにつかまらなると、同じ場所にいられない状況となる可能性がある。
石油タンクのスロッシング	長周期地震動により石油タンクのスロッシング（タンク内溶液の液面が大きく揺れる現象）が発生し、石油がタンクから溢れ出たり、火災などが発生したりすることがある。
大規模空間を有する施設 の天井等の破損、脱落	体育館、屋内プールなど大規模空間を有する施設では、建物の柱、壁など構造自体に大きな被害を生じない程度の地震動でも、天井等が大きく揺れたりして、破損、脱落することがある。

※ 規模の大きな地震が発生した場合、長周期の地震波が発生し、震源から離れた遠方まで到達して、平野部では地盤の固有周期に応じて長周期の地震波が増幅され、継続時間も長くなることがある。

4 水害・土砂災害関係

4-1 地すべり危険箇所一覧

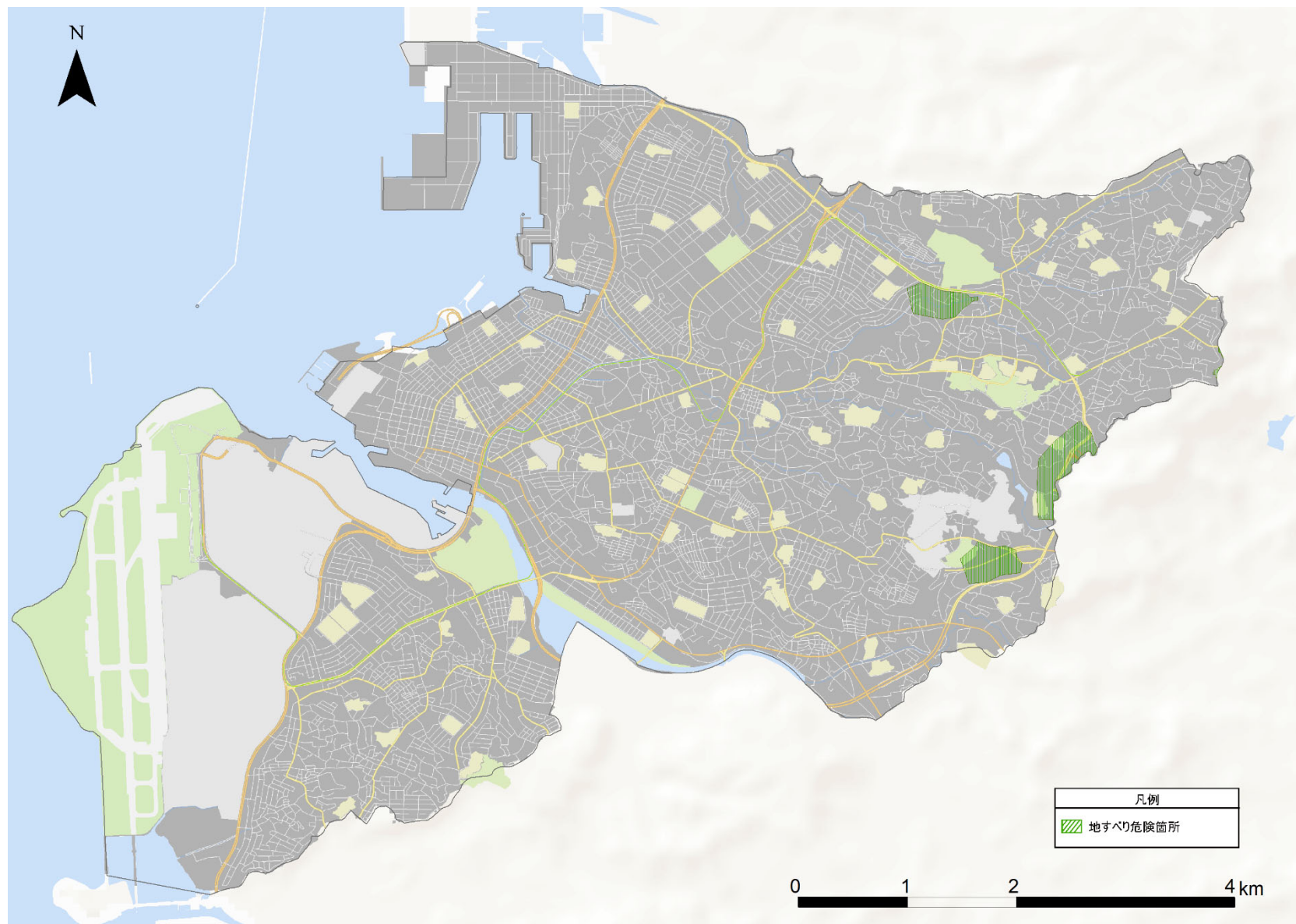
(平成31年4月1日現在)

番号	所轄土木事務所等名	水防管理団体名	区域名	位置	面積 (ha)	地すべり指定地の有無	区域内の保全対象				土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律による指定区域		
				大字			河川への影響 (m ³)	人家 (戸)	耕地 (ha)	公共的建物施設の種類及び数	箇所名	土砂災害警戒区域	
												指定年月日	告示番号
39	南部土木事務所	那覇市	首里大名	一丁目	10.6	無		100	0.0	市道1140m	首里大名	H29.6.27	第347号
40	"	"	首里末吉	三丁目	55.5	無	18,000	99	1.5	県道550m、市道1340m、 幼園1、福セン1、電局1	首里末吉	H26.3.28	第192号
41	"	"	首里石嶺	一丁目	16.2	無		175	0.3	市道1230m、営署1、公 宿1	首里石嶺	H27.3.17	第188号
42	"	"	首里桃原	二丁目	22.3	有	418,000	568	0.3	県道670m、市道530m	首里桃原	H27.3.17	第188号
43	"	"	真嘉比	真嘉比	19.0	無	80,000	534	0.4	県道280m、市道1260m、 病院1、幼園3			
44	"	"	泊	二丁目	12.3	無		134	0.0	市道1190m、学校1、幼 園1			
45	"	"	安里	一丁目	8.9	無		191	0.0	県道170m、市道1000m			
46	"	"	首里寒川	一丁目	66.3	無		728	1.5	県道950m、市道2800m、 ダム1、公館1	首里寒川	H27.3.17	第188号
47	"	"	首里鳥堀	四丁目	20.4	無		123	5.0	県道210m、市道1090m、 学校1	首里鳥堀	H26.3.4	第117号
48	"	"	首里崎山	四丁目	23.0	有		180	1.0	県道750m、市道1100m、 学校1、試場1	首里崎山	H27.3.17	第188号
49	"	"	繁多川	四丁目	15.3	無	46,000	144	0.5	市道280m、学校1	繁多川	H27.3.17	第188号
50	"	"	古波蔵	四丁目	12.3	無		253	0.0	県道380m、市道1220m、 幼園1、試場1	古波蔵	H27.3.17	第188号

番号	所轄土木事務所等名	水防管理団体名	区域名	位置	面積 (ha)	地すべり指定地の有無	区域内の保全対象				土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律による指定区域		
				大字			河川への影響 (m ³)	人家 (戸)	耕地 (ha)	公共的建物施設の種類及び数	箇所名	土砂災害警戒区域	
												指定年月日	告示番号
51	〃	〃	国場	国場	8.3	無		117	1.0	市道1030m、学校1、幼稚園1	国場	H26.3.4	第188号
52	〃	〃	仲井真	仲井真	31.2	無		434	2.0	国道900m、県道320m、市道3150m、短大1、学校1、幼稚園1	仲井真	H26.3.4	第117号
53	〃	〃	上間	上間	18.0	無		89	0.9	国道120m、県道440m、市道1840m、体館1	上間	H26.3.4	第117号
54	〃	〃	真地	真地	27.4	有		155	5.0	県道950m、市道1600m	真地	H26.3.4	第117号

(資料：令和元年度沖縄県水防計画)

4-2 地すべり危険箇所図



4-3 急傾斜地崩壊危険箇所一覧

(1) 急傾斜地崩壊危険箇所 (I)

急傾斜地崩壊危険箇所 I : 被害想定区域内に人家が5戸以上 (5戸未満であっても官公署、学校、病院、社会福祉施設等の要配慮者関連施設等のある場合を含む。) ある箇所。

<自然斜面>

(平成31年4月1日現在)

番号	所轄土木事務所等名	水防管理団体名	箇所番号	箇所名	位置		地形			保全対象			急傾斜地崩壊危険区域の指定	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律による指定区域			
					大字	小字	傾斜(度)	延長(m)	高さ(m)	人家(戸)	公共的建物	公共施設		箇所名	土砂災害警戒区域		
															指定年月日	告示番号	
182	南部土木事務所	那覇市	I-196	大名	首里大名町	大名町二丁目	30	120	11.7	8			市道(50m)、道路(15m)	S58.12.24	大名	H26.3.28	第192号
183	"	"	I-197	石嶺	首里石嶺町	首里石嶺町三丁目	30	670	19.0	83			県道(605m)、市道(25m)、道路(300m)	S51.3.18	石嶺	H28.9.20	第493号
184	"	"	I-198	幸地	"	首里石嶺町四丁目	38	460	11.1	52	病院	1	市道(60m)、道路(350m)	H12.9.19	幸地	H27.3.17	第188号
185	"	"	I-199	儀保	首里儀保町	首里儀保町三丁目	42	250	9.5	38			市道(100m)、道路(30m)	H4.10.2	儀保	H26.3.28	第192号
186	"	"	I-200	赤平(1)	首里赤平町	首里赤平町二丁目	59	200	15.4	7				S63.9.24	赤平(1)-1,2	H26.3.4	第117号
187	"	"	I-201	赤平(2)	"	"	55	50	12.8	12				無	赤平(2)	H26.3.4	第117号
188	"	"	I-202	当之蔵	首里当之蔵町	当之蔵二丁目	40	240	14.4	13			河川(290m)	S58.12.24	当之蔵	H26.3.4	第117号
189	"	"	I-204	赤田	首里赤田町	赤田町一丁目	47	120	12.5	9			道路(110m)	S57.6.7	赤田	H26.3.4	第117号
190	"	"	I-205	金城(1)	首里金城町	首里金城町四丁目	41	195	20.0	6			市道(55m)、道路(10m)、河川(80m)	H11.6.4	金城(1)-1,2	H27.3.17	第188号
191	"	"	I-206	金城(2)	"	首里金城町四丁目	46	350	23.0	39			道路(345m)	S63.9.24	金城(2)	H27.3.17	第188号

番号	所轄土木事務所等名	水防管理団体名	箇所番号	箇所名	位置		地形			保全対象			急傾斜地崩壊危険区域の指定	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律による指定区域			
					大字	小字	傾斜(度)	延長(m)	高さ(m)	人家(戸)	公共的建物			公共施設	箇所名	土砂災害警戒区域	
																指定年月日	告示番号
192	〃	〃	I-207	山川(1)	首里山川町	首里山川町一丁目	37	130	36.4	41			県道(30m)	無	山川(1)	H27.3.17	第188号
193	〃	〃	I-208	山川(2)	〃	〃	54	130	14.3	23			県道(30m)、市道(30m)	無	山川(2)	H27.3.17	第188号
194	〃	〃	I-209	首里寒川	首里寒川町	首里寒川町一丁目	41	85	11.1	9	神社	1		S56.6.4	首里寒川	H27.3.17	第188号
195	〃	〃	I-210	繁多川	繁多川	魚崎原	32	90	31.1	10			道路(65m)	無	繁多川(3)	H27.3.17	第188号
196	〃	〃	I-211	真嘉比	大道	上大道原	42	210	11.3	25			道路(205m)	廃止 H25.6.28			
197	〃	〃	I-212	松川(1)	〃	佐久真原	50	150	9.7	15	小学校	1	市道(40m)	無	松川(1)	H27.3.17	第188号
198	〃	〃	I-213	松川(2)	松川	後原	45	90	9.7	9			県道(80m)、道路(15m)	無	松川(2)	H27.3.17	第188号
199	〃	〃	I-214	松川(3)	〃	〃	40	125	11.6	14			道路(60m)	無	松川(3)	H27.3.17	第188号
200	〃	〃	I-215	識名(1)	識名	西門原	41	200	7.6	20			市道(20m)、河川(145m)	S50.2.3	識名(1)	H26.3.4	第117号
201	〃	〃	I-216	識名(2)	〃	小又原	42	115	29.7	27			市道(30m)、公園(1)	無	識名(2)	H26.3.4	第117号
202	〃	〃	I-217	長田	上間	底田原	48	300	20.5	185			市道(475m)、配水タンク(1)	無	長田	H26.3.4	第117号
203	〃	〃	I-218	国場	国場	溝原	42	200	14.6	27			市道(45m)、道路(110m)	S62.9.22	国場	H26.3.4	第117号
204	〃	〃	I-219	上間	上間	淵下原	35	70	12.5	5			市道(65m)	S61.12.5	上間	H26.3.4	第117号

番号	所轄土木事務所等名	水防管理団体名	箇所番号	箇所名	位置		地形			保全対象			急傾斜地崩壊危険区域の指定	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律による指定区域			
					大字	小字	傾斜(度)	延長(m)	高さ(m)	人家(戸)	公共的建物	公共施設		箇所名	土砂災害警戒区域		
															指定年月日	告示番号	
205	〃	〃	I-220	真地	真地	上原	44	170	16.0	5	高等学校	1	道路(70m)	S59.12.11	真地	H26.3.4	第117号
206	〃	〃	I-221	安謝(1)	安謝	義理地原	80	80	9.5	8	神舎	1	市道(35m)、道路(115m)	無	安謝(1)	H21.6.19	第363号
207	〃	〃	I-222	安謝(2)	〃	山後原	80	150	8.3	29			道路(20m)	無	安謝(2)	H21.6.19	第363号
208	〃	〃	I-224	天久(1)	天久	樋川原	79	795	19.1	23	病院、火葬場、自練	3	市道(55m)、道路(60m)	S59.9.14	天久(1)-1,2,3,4	H21.6.19	第363号
209	〃	〃	I-225	牧志	牧志	牧志二丁目	90	130	13.0	16			市道(195m)、公園(1)	無	牧志	H27.3.17	第188号
210	〃	〃	I-226	楚辺	楚辺	楚辺一丁目	65	160	11.0	13				無	楚辺	H27.3.17	第188号
211	〃	〃	I-227	古波蔵(1)	古波蔵	長作原	53	175	15.0	15			道路(85m)	S50.12.22	古波蔵(1)	H27.3.17	第188号
212	〃	〃	I-228	古波蔵(2)	〃	〃	70	90	11.0	5				S61.9.16	古波蔵(2)	H27.3.17	第188号
213	〃	〃	I-229	山下(2)	山下町	山下町二丁目	40	215	35.0	19			国道(10m)、市道(295m)、道路(190m)、公園(1)	H3.10.4	山下(2)	H26.3.4	第117号
214	〃	〃	I-230	山下(1)	〃	山下町一丁目	32	475	31.1	79	小学校	1	市道(560m)、道路(70m)	S50.12.1	山下(1)	H26.3.4	第117号
215	〃	〃	I-231	小祿(2)	小祿	後原	75	90	10.1	15			市道(15m)、道路(25m)	S52.5.12	小祿(2)	H26.3.4	第117号
216	〃	〃	I-232	小祿(1)	〃	〃	52	130	10.0	12			県道(60m)、市道(20m)、道路(40m)	S55.5.26	小祿(1)	H26.3.4	第117号

番号	所轄土木事務所等名	水防管理団体名	箇所番号	箇所名	位置		地形			保全対象			急傾斜地崩壊危険区域の指定	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律による指定区域		
					大字	小字	傾斜(度)	延長(m)	高さ(m)	人家(戸)	公共的建物	公共施設		箇所名	土砂災害警戒区域	
															指定年月日	告示番号
217	〃	〃	I-233	小禄(3)	〃	富盛原	37	195	32.9	23		市道(205m)、道路(55m)	S58.12.24	小禄(3)	H26.3.4	第117号
383	〃	〃	I-402	石嶺(6)	首里石嶺町	首里石嶺町二丁目	34	240	10.2	25		道路(140m)	無	石嶺(6)-1,2	H26.3.4	第117号
384	〃	〃	I-403	当之蔵(2)	首里赤田町	首里赤田町一丁目	39	180	14.2	17		道路(140m)	無	当之蔵(2)	H26.3.4	第117号
385	〃	〃	I-404	末吉(2)	首里末吉町	首里末吉町一丁目	90	85	13.3	9		道路(60m)	無	末吉(2)	H26.3.28	第192号
386	〃	〃	I-405	儀保(2)	首里儀保町	首里儀保町四丁目	55	60	13.3	5		道路(15m)	無	儀保(2)	H26.3.28	第192号
387	〃	〃	I-406	山川(3)	首里桃園町	首里桃園町二丁目	38	120	24.0	12		道路(55m)、河川(25m)	無	山川(3)	H27.3.17	第188号
388	〃	〃	I-407	首里大中	首里大中町	首里大中町一丁目	56	75	8.2	12		道路(50m)	無	首里大中	H27.3.17	第188号
389	〃	〃	I-408	首里寒川(2)	松川	松川原	30	120	22.6	12		市道(75m)、道路(125m)	無	首里寒川(2)	H27.3.17	第188号
390	〃	〃	I-409	識名(3)	識名	西門原	46	85	8.4	6		道路(15m)	無	識名(3)-1	H26.3.4	第117号
391	〃	〃	I-410	国場(2)	国場	国場原	36	45	10.3	5			無	国場(2)	H26.3.4	第117号
392	〃	〃	I-411	小禄(4)	小禄	森口原	44	370	20.9	26		市道(20m)、道路(435m)	無	小禄(4)	H26.3.4	第117号
393	〃	〃	I-412	小禄(5)	〃	〃	35	55	12.9	11		道路(25m)	無	小禄(5)	H26.3.4	第117号

番号	所轄土木事務所等名	水防管理団体名	箇所番号	箇所名	位置		地形			保全対象			急傾斜地崩壊危険区域の指定	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律による指定区域			
					大字	小字	傾斜(度)	延長(m)	高さ(m)	人家(戸)	公共的建物			公共施設	箇所名	土砂災害警戒区域	
																指定年月日	告示番号
394	〃	〃	I-413	小禄(6)	〃	〃	55	25	8.9	1	学童教室	1	無	小禄(6)	H26.3.4	第117号	
395	〃	〃	I-414	田原	田原	伊地増原	42	200	10.3	16			道路(225m)	無	田原-1,2	H26.3.4	第117号
396	〃	〃	I-415	宇栄原(2)	宇栄原	豆腐増原	60	150	11.2	9	中学校	1	道路(30m)	無	宇栄原(2)	H26.3.4	第117号
397	〃	〃	I-416	高良	〃	慶良喜原	41	145	14.3	28			道路(150m)	無	高良	H26.3.4	第117号
398	〃	〃	I-417	仲嘉地	〃	松川原	55	135	12.5	8	小学校	1	道路(15m)	無	名嘉地	H26.3.4	第117号

(資料：令和元年度沖縄県水防計画)

<人工斜面>

(平成31年4月1日現在)

番号	所轄土木事務所等名	水防管理団体名	箇所番号	箇所名	位置		地形			保全対象			急傾斜地崩壊危険区域の指定	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律による指定区域			
					大字	小字	傾斜(度)	延長(m)	高さ(m)	人家(戸)	公共的建物			公共施設	箇所名	土砂災害警戒区域	
																指定年月日	告示番号
445	南部土木事務所	那覇市	I-811	石嶺(4)	首里石嶺町	首里石嶺町二丁目	63	190	13.0	14			道路(35m)	無	石嶺(4)	H27.3.17	第188号
446	〃	〃	I-812	石嶺(3)	〃	〃	90	70	5.9	9			道路(25m)	無	石嶺(3)	H27.3.17	第188号
447	〃	〃	I-813	石嶺(2)	〃	〃	63	170	11.3	20			道路(40m)	無	石嶺(2)	H27.3.17	第188号
448	〃	〃	I-814	鳥堀	首里鳥堀町	首里鳥堀町五丁目	74	60	9.7	9			道路(41m)	無	首里鳥堀	H26.3.4	第117号

番号	所轄土木事務所等名	水防管理団体名	箇所番号	箇所名	位置		地形			保全対象			急傾斜地崩壊危険区域の指定	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律による指定区域			
					大字	小字	傾斜(度)	延長(m)	高さ(m)	人家(戸)	公共的建物	公共施設		箇所名	土砂災害警戒区域		
															指定年月日	告示番号	
449	〃	〃	I-815	金城	首里崎山町	首里崎山町一丁目	83	80	10.5	23	保育園	1	道路(30m)	無	金城	H27.3.17	第188号
450	〃	〃	I-816	真地(2)	真地	山田原	43	235	42.2	20	盲学校、高等学校	2		無	真地(2)-1,2	H26.3.4 H26.11.25	第117号 第602号
451	〃	〃	I-817	末吉(1)	首里平良町	首里平良町二丁目	70	70	11.3	11			道路(135m)	無	末吉(1)	H26.3.28	第192号
452	〃	〃	I-818	繁多川(1)	繁多川	金城前原	43	250	16.6	19	中学校	1	市道(150m)、道路(25m)	無	繁多川(1)	H27.3.17	第188号
453	〃	〃	I-819	繁多川(2)	繁多川	野座原	52	180	13.7	105			道路(190m)	無	繁多川(2)-1,2	H27.3.17	第188号
454	〃	〃	I-820	識名(3)	識名	識名四丁目	33	140	35.8	33			市道(155m)	無	識名(3)-2	H26.3.4	第117号
455	〃	〃	I-821	天久(2)	天久	前原	85	120	8.5	68	ホテル	1		無	天久(2)	H27.3.17	第188号
456	〃	〃	I-822	上之屋	上之屋	上之屋原	82	60	9.0	5				無	上之屋	H27.3.17	第188号
457	〃	〃	I-823	宇栄原(1)	小祿	万越原	43	150	14.0	9	小学校	1	市道(10m)、道路(100m)	無	宇栄原(1)	H26.3.4	第117号

(2) 急傾斜地崩壊危険箇所 (II)

急傾斜地崩壊危険箇所 II : 被害想定区域内に人家が 1 ~ 4 戸ある箇所。

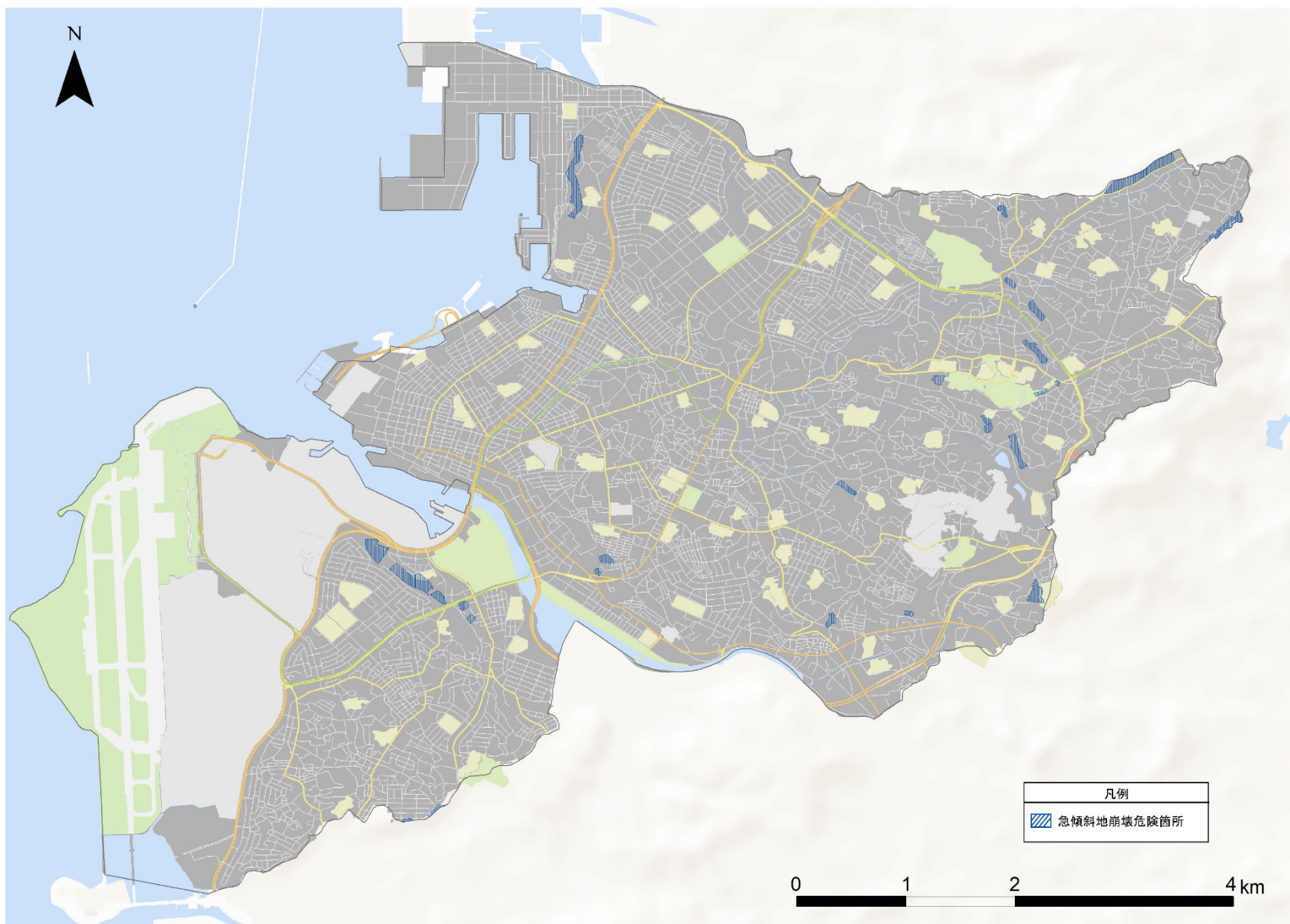
<自然斜面>

(平成31年4月1日現在)

番号	所轄土木事務所等名	水防管理団体名	箇所番号	箇所名	位置		地形			保全対象		急傾斜地崩壊危険区域の指定	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律による指定区域		
					大字	小字	傾斜(度)	延長(m)	高さ(m)	人家(戸)	公共施設		箇所名	土砂災害警戒区域	
														指定年月日	告示番号
694	南部土木事務所	那覇市	II-229	石嶺(5)	首里石嶺町	首里石嶺町三丁目	45	47	7.5	4		無	石嶺(5)	H27.3.17	第188号
695	〃	〃	II-230	赤田当之蔵	首里赤田町	首里赤田町一丁目	60	52	8.0	3	県道(25m)、市道(20m)	S58.12.24	赤田当之蔵	H26.3.4	第117号

(資料 : 令和元年度沖縄県水防計画)

4-4 急傾斜地崩壊危険箇所図



4-5 土石流危険渓流一覧

土石流危険渓流Ⅰ：土石流危険区域内に人家が5戸以上（5戸未満であっても官公署、学校、病院、社会福祉施設等の要配慮者関連施設等のある場合を含む。）ある場合の当該区域に流入する渓流。

番号	所轄土木事務所等名	水防管理団体名	渓流番号	水系名	渓流名	所在地	流域概要			保全対象 人家戸数 (戸)	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止 対策の推進に関する法律による指定区域		
							大字	渓流長 (km)	流域面積 (km ²)		平均溪床 勾配 (°)	箇所名	土砂災害警戒区域
						指定年月日				告示番号			
135	南部土木事務所	那覇市	201-A29-01	安里川	真嘉比川		0.23	0.98	6	46	真嘉比川 201-A29-01	H27.3.17	第188号
136	〃	〃	201-A29-05	安謝川	安謝川	末吉	0.25	2.52	6	35	安謝川 201-A29-05	H26.3.28	第192号

4-6 重要水防区域一覧

(1) 重要水防区域内で危険と予想される区域（河川）

(平成31年4月1日現在)

番号	所轄土木事務所等名	水防管理団体名	水系名	河川名	重要水防区域		危険と予想される主な区域		予想される危険	予想される被害の程度			
					流路延長	区域	流路延長	区域		家屋(棟)	耕地(ha)	人口(人)	面積(ha)
30	南部土木事務所	那覇市	安謝川	安謝川	5.0	那覇市石嶺～河口	4.0	那覇市石嶺、安謝	溢水	3,900	0.7	17,770	111.1
31	〃	〃	安里川	安里川	7.3	那覇市赤田～河口	7.3	同左	〃	1,929	4.0	8,580	55.6
32	〃	〃	〃	真嘉比川	1.4	那覇市古島～安里川合流点	0.6	那覇市松川、古島	〃	498	4.6	2,220	16.8
33	〃	〃	国場川	国場川	8.3	南風原町宮平～河口	2.5	那覇市国場、上間	〃	4,656	25.2	20,710	220.0
34	〃	〃	安里川	久茂地川	2.1	安里川分派点～国場川合流点	2.1	安里分派点～国場川合流点	〃	498	5	2,218	17
40	〃	豊見城市 那覇市 南風原町 八重瀬町	国場川	長堂川	3.7	南風原町山川～国場川合流点	2.0	豊見城市長堂 那覇市国場 南風原町山川 八重瀬町外間	〃	310	21.0	1,270	36.9

(資料：令和元年度沖縄県水防計画)

(2) 河川危険箇所

番号	河川名		重要水防区域	(m)	特に危険な区域	(m)	予想される危険	備考
1	安謝川(安謝)		左岸	安謝橋～銘苅境界	570	オカノ工場北側	70	溢水 改修工事済
2	安謝川(銘苅・古島)		両岸	前の橋～古島29番地	400	前の橋～古島29番地	400	〃 〃
3	安謝川(古島)		左岸	古島49番地～古島49番地の2	120	古島49番地～古島49番地の2	120	〃 未整備
4	安謝川(平良町・石嶺町)		両岸	平良町1丁目30～石嶺町4丁目103番地	1,000	平良町1丁目30～石嶺町4丁目103番地	1,000	〃 上流側未整備、石嶺排水路整備済

番号	河川名		重要水防区域	(m)	特に危険な区域	(m)	予想される危険	備考
5	安里川（牧志・安里）	両岸	崇元寺橋～ひめゆり橋	970	牧志2丁目25番34号～ひめゆり橋	870	〃	下流側改修工事中S58年度より事業中
6	安里川（安里・壺屋・大道・三原）	両岸	ひめゆり橋～大道練兵橋	550	ひめゆり橋～大道練兵橋	550	〃	未整備
7	安里川（松川）	両岸	大道練兵橋～指帰橋～松川3-12-24	850	大道練兵橋～指帰橋～松川3-12-24	850	〃	〃
8	真嘉比川（松川・古島）	両岸	松川301～古島407番地	1,000	松川301～古島407番地	1,000	〃	〃
9	ガープ川（牧志）	両岸	十貫瀬橋～沖映通り	300	我那覇鉄工所向い	140	〃	S62年度改修工事済
10	ガープ川（牧志）	両岸	牧志1丁目4番地33号～千歳橋	650	牧志1丁目4番地33号～千歳橋	650	滞水	整備済
11	国場川（国場・仲井真・上間）	両岸	国場225～仲井真264番地の3	1,000	国場225～仲井真264番地の3	1,000	溢水	改修工事中

4-7 道路危険区域状況

県管理道路（指定区間外国道、県道）危険区域

（平成31年4月1日現在）

番号	土木事務所	路線名	想定される事態	同左区域	同左延長	代替路線名	摘要
26	中部	国道330号	擁壁の崩壊	那覇市銘苅	25m	那覇宜野湾線、市道外	交通不能
30	南部	奥武山米須線	落石・崩壊	那覇市山下町	50m	国道331号、那覇内環状線	〃

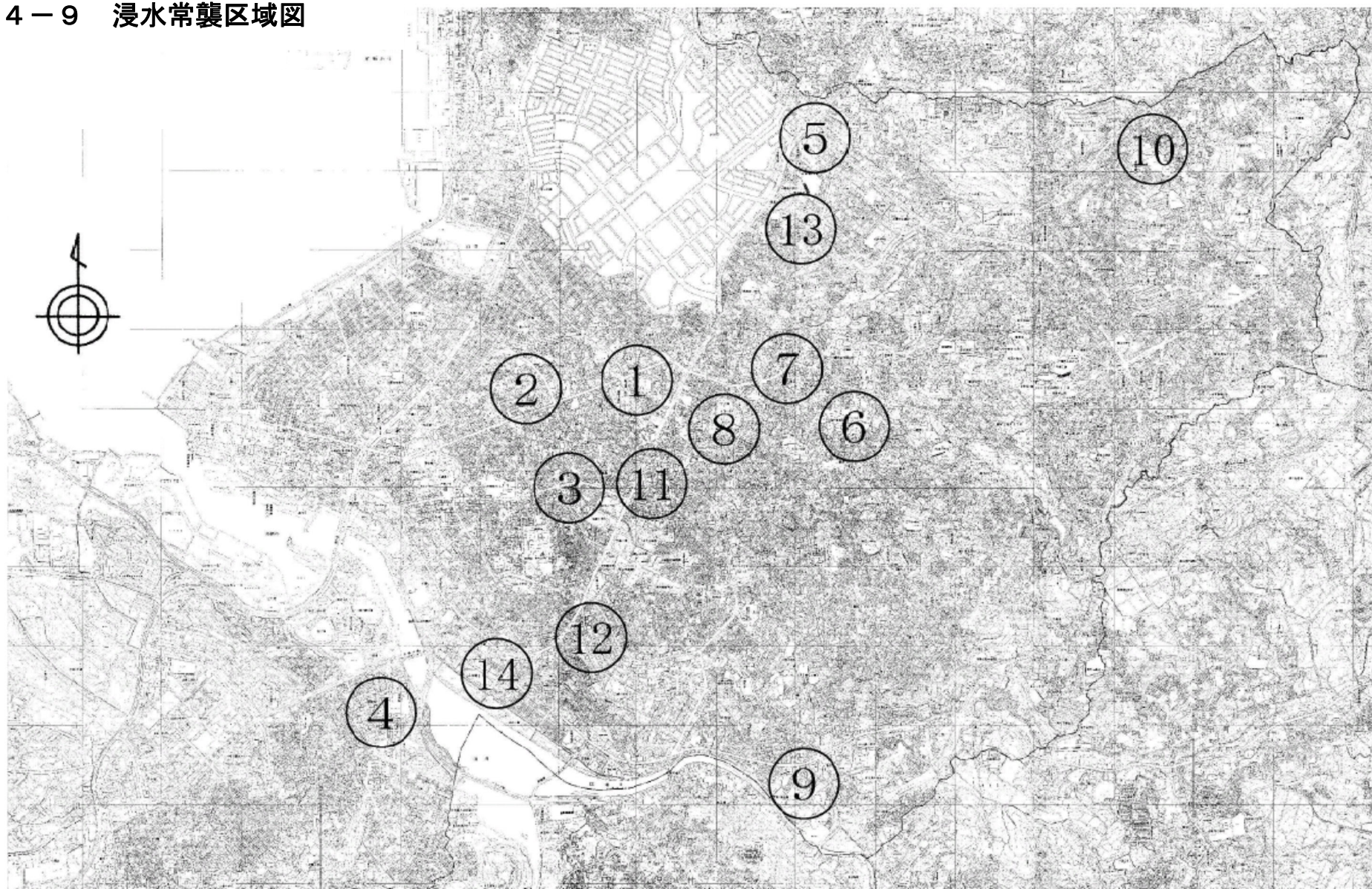
（資料：令和元年度沖縄県水防計画）

4-8 浸水常襲区域状況

(総務部 平成26年2月1日現在)

番号	区 域	予想される被害戸			備 考
		床上	床下	合計	
1	崇元寺橋～ひめゆり橋一帯	273	20	293	
2	我那覇鉄工所～旧ダイナハー一帯	59	2	61	
3	牧志1丁目4番33号～千歳橋一帯	85	14	99	
4	鏡原1番地1～小禄三叉路一帯	99	37	136	
5	銘苅(前の橋)～古島29番地一帯	1	1	2	
6	松川301～古島407番地一帯	95	6	101	
7	練兵橋・大道橋・松川橋～松川3丁目12番34号一帯	218	15	233	
8	ひめゆり橋～大道160番地一帯	105	44	149	
9	国場225～仲井真264番地3一帯	100	49	149	
10	首里平良町1丁目30～首里石嶺町4丁目103番地一帯	65	33	98	
11	壺屋2丁目15番2号～12番3号一帯	39	23	62	
12	与儀2丁目8番地一帯	0	3	3	
13	古島1丁目30番地一帯	6	6	12	
14	古波蔵3丁目17番一帯	0	250	250	

4-9 浸水常襲区域図



4-10 水位周知河川の観測位置と水位

(平成31年4月現在)

水系名	河川名	観測位置[水位局名]	氾濫危険水位	護岸天端※高水位
安里川	安里川	那覇市牧志[姫百合橋]	2.10m	3.00m
	久茂地川	那覇市前島[美栄橋]	4.55m	4.75m
	真嘉比川	那覇市字松川[真嘉比川]	3.10m	3.80m
安謝川	安謝川	那覇市首里石嶺町[石嶺]	2.60m	3.00m
		那覇市古島[古島]	3.45m	4.35m

※護岸天端：河川護岸の上面、最上部にあたる部分

(資料：令和元年度沖縄県水防計画)

5 通信関係

5-1 那覇市防災行政無線局一覧

(1) 固定系親局設備

(令和2年5月1日現在)

管理番号	所在地	設置場所	種別	設置年月日
—	那覇市泉崎1丁目1番1号	市役所本庁舎5階（防災危機管理課）	同報系親局	平成14年3月設置 ※平成21年4月改修 ※平成31年3月改修
—	那覇市銘苅2丁目3番8号	消防局5階（指令情報課消防指令室）	同報系親局 遠隔制御器	平成18年3月設置 ※平成31年3月改修

(2) 固定系屋外拡声子局（デジタル型）

管理番号	所在地	設置場所	種別	設置年月日
NO.01	那覇市若狭1丁目24番	波之上ビーチ（旭ヶ丘公園管理事務所前）	同報系子局	平成31年3月設置
NO.02	那覇市辻3丁目3番	波之上海空公園（駐車場）	〃	〃
NO.03	那覇市辻3丁目2番	波之上ビーチ（エスパーナ側）	〃	〃
NO.04	那覇市港町1丁目	那覇港新港ふ頭前面道路側緑地帯	〃	〃
NO.05	那覇市曙2丁目	曙公園	〃	〃
NO.06	那覇市港町1丁目	新港ふ頭東緑地北側	〃	〃
NO.07	那覇市港町1丁目	新港ふ頭東緑地南側	〃	〃
NO.08	那覇市泊3丁目	泊ふ頭北岸先客待合所	〃	〃
NO.09	那覇市若狭3丁目	夫婦瀬公園	〃	〃
NO.10	那覇市若狭2丁目24番	若狭海浜公園	〃	〃
NO.11	那覇市道堂町	那覇ふ頭駐車場	〃	〃
NO.12	那覇市道堂町	那覇ふ頭明治橋駐車場	〃	〃
NO.13	那覇市字壺川	壺川中公園	〃	〃
NO.14	那覇市古波蔵3丁目	漫湖公園西側	〃	〃
NO.15	那覇市鏡原町	くじら公園	〃	〃
NO.16	那覇市古波蔵3丁目	漫湖公園東側	〃	〃
NO.17	那覇市牧志1丁目	緑ヶ丘公園	〃	〃
NO.18	那覇市奥武山町	奥武山公園	〃	〃
NO.19	那覇市牧志3丁目	ひめゆり橋	〃	〃
NO.20	那覇市松島1丁目	市道まかひ6号	〃	〃
NO.21	那覇市古島1丁目	末吉西公園	〃	〃

(3) 固定系屋外拡声子局（デジタル型）

管理番号	所在地	設置場所	種別	設置年月日
NO. 01	識名1丁目	大石公園	同報系子局	平成21年4月設置
NO. 02	首里末吉町3丁目	末吉ちょうちょう公園	〃	〃
NO. 03	首里末吉町2丁目	末吉公民館広場	〃	〃
NO. 04	首里末吉町1丁目	末吉公園	〃	〃
NO. 05	首里大名町3丁目	県道153号線	〃	〃
NO. 06	首里石嶺町4丁目	県立北嶺学園近く	〃	〃
NO. 07	字古島	真嘉比遊水池	〃	〃
NO. 08	首里桃原町2丁目	首里織工芸館広場	〃	〃
NO. 09	首里儀保町4丁目	末吉公園駐車場入口（儀保交番側）	〃	〃
NO. 10	首里赤平町2丁目	虎瀬公園	〃	〃
NO. 11	首里汀良町1丁目	汀良公園	〃	〃
NO. 12	首里寒川町1丁目	寒川緑地	〃	〃
NO. 13	首里烏堀町5丁目	弁ヶ岳公園	〃	〃
NO. 14	首里金城町4丁目	金城ダム専用駐車場	〃	〃
NO. 15	首里崎山町3丁目	県道82号線	〃	〃
NO. 16	首里崎山町4丁目	旧農業試験場跡地	〃	〃
NO. 17	山下町	山下西公園	〃	〃
NO. 18	山下町	垣花小学校	〃	〃
NO. 19	楚辺2丁目	古波蔵交差点	〃	〃
NO. 20	字国場	沖縄女子短期大学	〃	〃
NO. 21	字識名	那覇市民体育館	〃	〃
NO. 22	字上間	国道507号線	〃	〃
NO. 23	字真地	真地市営住宅	〃	〃

(4) 固定系屋外拡声子局（デジタル型）NO. 1

* 平成25年度沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）で整備

管理番号	所在地	設置場所	種別	設置年月日
NO. 01	首里大名町1丁目	大名小学校	同報系子局	平成25年度整備
NO. 02	首里鳥堀町4丁目	弁ヶ岳公園	〃	〃
NO. 03	古島2丁目	松島中学校	〃	〃
NO. 04	首里石嶺町1丁目	城北小学校	〃	〃
NO. 05	首里石嶺町1丁目	城北中学校	〃	〃
NO. 06	首里石嶺町4丁目	石嶺小学校	〃	〃
NO. 07	首里石嶺町2丁目	石嶺中学校	〃	〃
NO. 08	首里石嶺町2丁目	城東小学校	〃	〃
NO. 09	字真嘉比	真嘉比小学校	〃	〃
NO. 10	首里真和志町1丁目	城西小学校	〃	〃
NO. 11	首里汀良町2丁目	首里中学校	〃	〃
NO. 12	字大道	大道小学校	〃	〃
NO. 13	松川1丁目	松川小学校	〃	〃
NO. 14	繁多川3丁目	松城中学校	〃	〃
NO. 15	首里崎山町4丁目	城南小学校	〃	〃
NO. 16	繁多川5丁目	石田中学校	〃	〃
NO. 17	識名2丁目	識名小学校	〃	〃
NO. 18	与儀1丁目	与儀小学校	〃	〃
NO. 19	字古波蔵	古蔵小学校	〃	〃
NO. 20	古波蔵4丁目	漫湖公園	〃	〃
NO. 21	寄宮3丁目	真和志小学校	〃	〃
NO. 22	字国場	国場東線	〃	〃
NO. 23	長田2丁目	上間小学校	〃	〃
NO. 24	字仲井真	仲井真小学校	〃	〃
NO. 25	識名4丁目	識名繁多川線	〃	〃
NO. 26	字真地	真地小学校	〃	〃
NO. 27	識名2丁目	識名霊園	〃	〃

(4) 固定系屋外拡声子局（デジタル型）NO. 2

* 平成25年度沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）で整備

管理番号	所在地	設置場所	種別	設置年月日
NO. 01	安謝2丁目	安謝小学校	同報系子局	平成25年度整備
NO. 02	銘苅3丁目	安岡がじゅまる公園	〃	〃
NO. 03	天久2丁目	天久ちゅらまち公園	〃	〃
NO. 04	銘苅2丁目	銘苅小学校	〃	〃
NO. 05	おもろまち2丁目	黄金森公園	〃	〃
NO. 06	前島1丁目	前島中公園	〃	〃
NO. 07	牧志2丁目	牧志公園	〃	〃
NO. 08	久米1丁目	上山中学校	〃	〃
NO. 09	寄宮1丁目	与儀公園	〃	〃
NO. 10	樋川1丁目	那覇中央公園	〃	〃
NO. 11	金城4丁目	金城中学校	〃	〃
NO. 12	字小禄	小禄小学校	〃	〃
NO. 13	宇栄原1丁目	さつき小学校	〃	〃
NO. 14	宇栄原2丁目	小禄中学校	〃	〃
NO. 15	小禄4丁目	小禄若草公園	〃	〃
NO. 16	字小禄	宇栄原幼稚園	〃	〃
NO. 17	宇栄原6丁目	宇栄原公園	〃	〃
NO. 18	おもろまち3丁目	新都心公園	〃	〃
NO. 19	松山1丁目	松山公園	〃	〃
NO. 20	楚辺1丁目	城岳公園	〃	〃
NO. 21	田原3丁目	田原公園	〃	〃
NO. 22	高良1丁目	高良公園	〃	〃
NO. 23	安謝1丁目	安謝東原公園	〃	〃
NO. 24	赤嶺1丁目	赤嶺公園	〃	〃
NO. 25	小禄1丁目	ひばり児童公園	〃	〃
NO. 26	具志2丁目	ゆうがお公園	〃	〃

5-2 那覇市消防局無線局一覧

(令和2年5月現在)

呼出名称	無線局種別	設置場所	所在地	電話番号
なはしれいせんたー なはしれいせんたーよぎ しれいかはん1 しれいかはん2 しれい101 しれい102 しれい103 しれい104 しれい105 かみはら303 ぼうさい101 なはしょうぼうほんぶ なはほきゅう101 なはほきゅう102 にしほんぶ1	基地-1 基地-2 可搬-4 可搬-5 携帯-22 携帯-23 携帯-24 携帯-25 携帯-26 携帯-28 携帯-49 防基-1 防携-4 防携-5 車載-49	指令情報課	銘苅2丁目3番8号	868-9911
そうむ2 ほんぶ101 ほんぶ102 そうむ101 そうむ104 そうむ103 なはしき2	車載-3 携帯-1 携帯-2 携帯-3 携帯-4 携帯-6 防車-2	総務課	銘苅2丁目3番8号	867-0119
よぼう6 よぼう1 よぼう2 よぼう3 よぼう4 よぼう5 よぼう101 よぼう102 よぼう103 よぼう104 よぼう105	車載-2 車載-17 車載-18 車載-19 車載-20 車載-21 携帯-17 携帯-18 携帯-19 携帯-20 携帯-21	予防課	銘苅2丁目3番8号	867-0212
おきなわしき1 おきなわしき2 おきなわしき3 おきなわしき4 けいぼうこうほう だんほんぶ1 けいぼうはんそう1 けいぼうほんぶ1 けいぼうかはん2	車載-4 車載-5 車載-6 車載-7 車載-10 車載-14 車載-37 可搬-1 可搬-2	警防課	銘苅2丁目3番8号	867-0911

呼出名称	無線局種別	設置場所	所在地	電話番号
けいぼう101 けいぼう102 けいぼう103 けいぼう104 けいぼう105 けいぼう106 けいぼう107 けいぼう108 おきなわしき1 けいぼう101	携帯-7 携帯-8 携帯-9 携帯-10 携帯-11 携帯-12 携帯-13 携帯-14 防車-3 防携-1			
きゅうきゅうしき きゅうきゅう1 きゅうきゅうほんぶ1 きゅうきゅう101 きゅうきゅう102	車載-15 車載-16 可搬-3 携帯-15 携帯-16	救急課	銘苅2丁目3番8号	867-1199
しきほんぶ1 しきほんぶ2 ちゅうおうかはん1 こうほうしえん とくさいしえん じゅうきはんそう1 なはしき1 なはしき2 なはしき3 なはしき4 なはしき5 なはしき6 ちゅうおうほんぶ1 ちゅうおうほんぶ2 ちゅうおうはしご1 ちゅうおうきゅうじょ2 ちゅうおうゆそう1 ちゅうおうけんいん1 ちゅうおうきゅうきゅう1 ちゅうおうきゅうきゅう2 とくすいたいおうなは なはほきゅう1 ちゅうおう101 なはしき101 なはしき102 なはしき103 ちゅうおう201 ちゅうおう202 ちゅうおう203 ちゅうおう204 ちゅうおう205	可搬-6 可搬-7 可搬-8 車載-11 車載-12 車載-13 車載-22 車載-23 車載-24 車載-25 車載-26 車載-27 車載-29 車載-30 車載-32 車載-33 車載-35 車載-36 車載-38 車載-39 車載-69 車載-73 携帯-27 携帯-29 携帯-30 携帯-31 携帯-32 携帯-33 携帯-34 携帯-35 携帯-36	中央消防署	銘苅2丁目3番8号	867-9915

呼出名称	無線局種別	設置場所	所在地	電話番号
ちゅうおう207 ちゅうおう301 なはしき1 なはしき102	携帯-38 携帯-39 防車-1 防携-3			
しょうぼうかみはら しれいなは かみはらきゅうきゅう2 かみはらぼんぷ3 かみはらとくさい1 かみはらきゅうきゅう3 かみはらぼんぷ1 かみはらぼんぷ2 あじゃかがく1 かみはら201 かみはら204 かみはら205 かみはら201 かみはら202 かみはら203 かみはら301	卓上-1 車載-1 車載-8 車載-31 車載-34 車載-40 車載-41 車載-42 車載-43 車載-70 携帯-5 携帯-37 携帯-40 携帯-41 携帯-42 携帯-63	神原分署	樋川2丁目8番9号	836-0119
しょうぼうしゅり しゅりぼんぷ1 しゅりぼんぷ2	卓上-3 車載-45 車載-46	首里出張所	首里久場川町2丁目 149番地の4	885-0119
しゅりたんく1 しゅりきゅうきゅう1 しゅり201 しゅり202 しゅり203 しゅり301	車載-47 車載-48 携帯-44 携帯-45 携帯-46 携帯-47			
しょうぼうこくば こくばきゅうきゅう1 こくばぼんぷ1 こくばぼんぷ2 こくば301 こくば201 こくば202 こくば203	卓上-2 車載-44 車載-59 車載-60 携帯-43 携帯-60 携帯-61 携帯-62	国場出張所	字与儀378番地の 7	855-0119
しょうぼうにし にしぼんぷ2 にしきゅうじょ1 にしがしご1 にしすいなん1 にしがんそう1 にしけんいん1 にしけんいん2 にしきゅうきゅう1	卓上-4 車載-50 車載-51 車載-52 車載-53 車載-54 車載-55 車載-56 車載-57	西消防署	東町26番12号	868-1230 866-0119

呼出名称	無線局種別	設置場所	所在地	電話番号
にしきゅうきゅう2 ちゅうおうきゅうじょ1 にしぼんぷ1 にし101 にし201 にし202 にし203 にし204 にし205 にし206 にし207 にし208 にし209 にし301 にしかはん1 なはしき101	車載-58 車載-71 車載-72 携帯-48 携帯-50 携帯-51 携帯-52 携帯-53 携帯-54 携帯-55 携帯-56 携帯-57 携帯-58 携帯-59 可搬-9 防携-2			
ようぼうおろく おろくじゅうきはんそう1 おろくぼんぷ1 おろくぼんぷ2 おろくかがく1 おろくきゅうきゅう1 おろく201 おろく202 おろく203 おろく301	卓上-6 車載-63 車載-64 車載-65 車載-67 車載-68 携帯-67 携帯-68 携帯-69 携帯-70	小祿出張所	金城2丁目1番29号	859-0119
しょうぼうあじゃ あじゃぼんぷ1 あじゃぼんぷ2 あじゃたんく1 あじゃ201 あじゃ202 あじゃ203	卓上-5 車載-61 車載-62 車載-66 携帯-64 携帯-65 携帯-66	安謝出張所	港町1丁目1番の1	868-1793

5-3 災害用伝言ダイヤルの利用方法

地震など大規模災害発生時には、安否確認、見舞い、問い合わせ等の電話が殺到し、電話がつながりにくくなる。

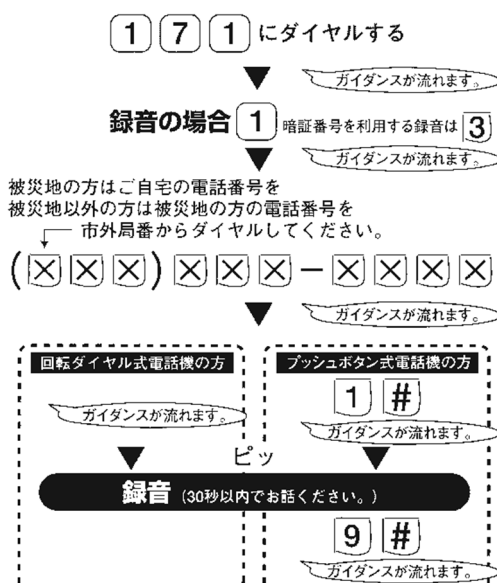
このような状況を緩和するため、大規模災害発生時には被災地域内やその他の地域の人との間で「声の伝言板」の役割を果たす「災害用伝言ダイヤル」がNTTにより提供される。

※「災害用伝言ダイヤル」とは、被災地の人が録音した安否情報などを、その他の地域の親戚や友人が、全国に設置された「災害用伝言ダイヤルセンタ」を通じて再生することができるシステム

提供の条件

- 利用できる電話……一般加入電話（プッシュ回線・ダイヤル回線とも）、公衆電話、ひかり電話及び災害時にNTTが避難所などに設置する災害用公衆電話
- 提供開始時期……災害が発生し、安否確認のための通話が増加し、被災地へ向けての通話がつながりにくい状況になっている場合
- 伝言録音時間……1伝言あたり30秒以内
- 伝言保存期間……運用期間終了まで
- 利用料金……NTTの電話サービスから伝言の録音・再生をする場合、避難所等に設置する災害時用公衆電話からの通話料は無料。

伝言の録音方法



※伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。聞かれないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。

伝言の再生方法

